令和５年度（2023 年度）

学習のてびき

島根県立浜田高等学校
通信制課程

〒697-8789　島根県浜田市黒川町 3749
ＴＥＬ（0855）22－0187
ＦＡＸ（0855）22－2549

※浜田高校通信制課程で学ぶ際の手続きなど、重要事項を掲載しています。

島根県立浜田高等学校　校歌

作詞　木島俊太郎
作曲　團　伊玖磨

一、
豊栄昇る朝日に映えて
石見の海にたぎる潮
青春の意気今高らかに
若きをのこよたくましく
狂瀾砕く力もて
進めよ共にたじろがず

二、
夕月匂う浜田川
やさしさ情操ここに育つ
青春の夢今美しく
若きをみなよひとすぢに
正義と愛の理想追ひ
磨けよ珠と此の精神

三、
緑ほほえむ三階山
春秋三とせ仰ぐわれら
青春の眉今清らかに
若きいのちよ粛然と
真理の前につつましく
学べよ深く明らかに

は じ め に

通信制課程のみなさんに「学習のてびき」をお届けします。これは浜田高校通信制課程で学ぶための案内書です。このてびきを丁寧に読んで、通信制課程の生徒として、しっかり学習を進めてください。

通信制課程は**自学自習が基本**です。登校して直接指導を受ける機会が少ないため、計画的かつ効果的に学習を進めるには、この**「学習のてびき」の内容を十分に理解しておくことが大切**です。このてびきを活用し、学習や諸手続に間違いや遅れのないようにしてください。

学習を進めるためには、**強い意志とたゆまぬ努力が必要**です。中途半端な気持ちで始めたのでは、最後までやり遂げられるものではありません。このことを肝に銘じて取り組んでください。最後まで学習を継続し、卒業を迎えたときには、まさしく「本物の力」を自ら勝ち得たと実感できるでしょう。

通信制課程で高校の学習を始めようとした動機や目的は人により様々だと思いますが、初志貫徹し、無事に卒業の日を迎えられることを願っています。

目　　次

１．年間行事予定 …… １・２
２．教育課程表 …… 3
３．開講講座一覧表 …… 4
４．入学から卒業まで …… 5
５．学習の進め方 …… 6
６．面接指導（スクーリング）の流れ …… 7
７．面接指導（スクーリング）について …… 8
８．レポートについて …… 9～11
９．試験 …… 12・13
１０．放送視聴学習 …… 13～15
１１．特別活動(特活) …… 18
１２．履修認定と単位認定 …… 19
１３．通信制課程以外での学修の成果 …… 20・21
１４．受講手続き …… 22
１５．卒業の条件 …… 22
１６．在籍年数 …… 22
１７．図書学習室の利用 …… 23
１８．進路指導室の利用 …… 23
１９．保健室の利用 …… 23
２０．スクールカウンセラー等への相談について …… 23
２１．学校生活のルール・マナー …… 24
２２．通学方法（通学に関する規定） …… 24
２３．通信制生徒の特典 …… 25
２４．事務手続き …… 26・27
２５．学校感染症による出席停止 …… 28
２６．独立行政法人日本スポーツ振興センター「災害共済給付制度」 …… 28
２７．携帯メールによる連絡網登録のお願い …… 29
２８．ホームページについて …… 29
２９．令和５年度　浜田高校通信制「特別活動」年間計画 …… 30・31
３０．学校行事の内容 …… 32・33
３１．レポート配付日・発送日・しめきり日一覧 …… 34・35
３２．スクーリング計画表 …… 36・37
３３．学習進捗状況 …… 38
３４．通信制の学習および生活　Ｑ＆Ａ …… 39～42
３５．スクーリング時程表 …… 43
３６．校舎配置図 …… 44
３７．通行経路 …… 45
通信制の１年（イベントカレンダー）

１．年間行事予定

４月		
1	土	
2	日	
3	月	
4	火	
5	水	
6	木	
7	金	
8	土	
9	日	在校生受講手続き
10	月	
11	火	
12	水	新入生１日入学
13	木	
14	金	振替(4/9)
15	土	
16	日	前期入学式
17	月	進研記述（３年）
18	火	↓
19	水	
20	木	
21	金	振替(4/16)
22	土	
23	日	前期全校集会　ルーム別指導　Ｒ配布
24	月	
25	火	プレスクーリング(浜田)
26	水	プレスクーリング(大田・益田)
27	木	
28	金	振替(4/23)
29	土	昭和の日
30	日	
		進路希望調査

５月		
1	月	振替(5/7)
2	火	
3	水	憲法記念日
4	木	みどりの日
5	金	こどもの日
6	土	
7	日	本Ｓ①・協Ｓ(益田①)
8	月	進路適性検査(卒業予定生)　Ｒ配布
9	火	火Ｓ①　情報モラル教育講演会
10	水	
11	木	
12	金	振替(5/14)
13	土	
14	日	本Ｓ②・協Ｓ(大田①)　ＰＴＡ総会
15	月	
16	火	
17	水	火Ｓ②
18	木	
19	金	振替(5/21)
20	土	
21	日	本Ｓ③・協Ｓ②　Ｒ〆切
22	月	
23	火	火Ｓ③　生徒総会
24	水	進研共通テ(３年)
25	木	↓
26	金	振替(5/28)
27	土	
28	日	巡S③　大田保護者会
29	月	Ｒ配布
30	火	火Ｓ④　進学説明会　社会人基礎力講座①　Ｒ〆切
31	水	

６月		
1	木	
2	金	振替(6/4)
3	土	
4	日	本Ｓ④・協Ｓ④　浜田保護者会
5	月	
6	火	火Ｓ⑤　健康診断３～６限
7	水	
8	木	遠足
9	金	振替(6/11)
10	土	県定通体育大会
11	日	本Ｓ⑤・協Ｓ⑤　益田保護者会　Ｒ〆切
12	月	
13	火	火Ｓ⑥　避難訓練　心と体の健康講座①
14	水	企業・学校見学①
15	木	
16	金	振替(6/18)
17	土	
18	日	本Ｓ⑥・協Ｓ⑥
19	月	
20	火	火Ｓ⑦　進路探究①
21	水	
22	木	地域巡検（益田地区）
23	金	振替(6/25)
24	土	
25	日	本Ｓ⑦・協Ｓ⑦　Ｒ〆切
26	月	
27	火	火Ｓ⑧　就職説明会
28	水	進研記述(全学年)
29	木	↓
30	金	振替(7/2)

７月		
1	土	
2	日	本Ｓ⑧・協Ｓ⑧
3	月	進路適性検査（在校生）
4	火	火Ｓ⑨　校医検診ＰＭ
5	水	
6	木	地域巡検（大田地区）
7	金	振替(7/9)
8	土	
9	日	本Ｓ⑨・協Ｓ⑨　生徒会提案行事①　Ｒ〆切
10	月	
11	火	火Ｓ⑩　社会人基礎力講座②
12	水	
13	木	
14	金	振替(7/16)
15	土	
16	日	本Ｓ⑩・協Ｓ⑩　前期大掃除
17	月	海の日
18	火	
19	水	前期レポート合格しめきり
20	木	受験願発送
21	金	地域巡検（浜田地区）
22	土	
23	日	
24	月	
25	火	
26	水	
27	木	
28	金	
29	土	
30	日	
31	月	

８月		
1	火	
2	水	
3	木	前期受験願受付しめきり
4	金	受験願一覧送付
5	土	
6	日	
7	月	
8	火	
9	水	
10	木	
11	金	山の日
12	土	
13	日	
14	月	完全閉庁
15	火	完全閉庁
16	水	
17	木	
18	金	振替(8/20)
19	土	
20	日	前期試験①(浜田・大田・益田)
21	月	
22	火	前期試験②(浜田・大田・益田)
23	水	
24	木	
25	金	振替(8/27)
26	土	
27	日	前期試験③(浜田・大田・益田)
28	月	
29	火	前期試験④(浜田のみ)
30	水	
31	木	
		全国定通体育大会

９月		
1	金	振替(9/3)
2	土	
3	日	再試験(浜田のみ)
4	月	着こなし講座
5	火	
6	水	進駿①共通テ(３年)
7	木	↓
8	金	
9	土	
10	日	
11	月	
12	火	追認試験
13	水	
14	木	
15	金	振替(9/17)
16	土	
17	日	
18	月	敬老の日
19	火	
20	水	
21	木	
22	金	振替(9/24)
23	土	秋分の日
24	日	新入生１日入学　前期卒業式
25	月	
26	火	
27	水	
28	木	
29	金	振替(10/1)
30	土	

10 月		
1	日	後期入学式
2	月	振替(10/7)
3	火	振替(10/8)
4	水	進駿②記述(３年)
5	木	↓
6	金	
7	土	創立130周年記念式典
8	日	後期全校集会　ルーム別指導　R配布
9	月	スポーツの日
10	火	プレスクーリング(浜田)
11	水	プレスクーリング(大田・益田)
12	木	県生活体験発表会
13	金	振替(10/15)
14	土	
15	日	本Ｓ①・協Ｓ①
16	月	
17	火	火Ｓ①　社会人基礎力講座③
18	水	宿泊研修
19	木	↓
20	金	振替(10/22)
21	土	
22	日	本Ｓ②・協Ｓ②　防災学習(浜田)
23	月	R配布
24	火	火Ｓ②　定通合同スポーツ大会
25	水	
26	木	
27	金	
28	土	振替(10/23)
29	日	本Ｓ③・協Ｓ③　R・探究〆切
30	月	進駿③共通テ(３年)進研記述(１・２年)
31	火	火Ｓ③　学校公開日ＡＭ
進路希望調査		

11 月		
1	水	進駿③共通テ(３年)　進研記述(１・２年)
2	木	振替(11/5)
3	金	文化の日
4	土	
5	日	巡Ｓ④　防災学習(益田)
6	月	R配布
7	火	火Ｓ④　心と体の健康講座②　R〆切
8	水	企業・学校見学②
9	木	
10	金	振替(11/12)
11	土	
12	日	本Ｓ④・協Ｓ(大田⑤)　防災学習(大田)
13	月	
14	火	火Ｓ⑤　社会人基礎力講座④
15	水	
16	木	
17	金	振替(11/19)
18	土	
19	日	本Ｓ⑤・協Ｓ(大田⑥、益田⑤) 先輩から学ぶ会　R〆切 全国生活体験発表会(東京)
20	月	
21	火	火Ｓ⑥　心と体の健康講座③
22	水	
23	木	勤労感謝の日
24	金	振替(11/20)
25	土	
26	日	本Ｓ⑥・協Ｓ(大田⑦、益田⑥) 生徒会提案行事②
27	月	
28	火	火Ｓ⑦　進路探究②
29	水	全統プレ共通テ(３年)
30	木	↓

12 月		
1	金	振替(12/3)
2	土	
3	日	本Ｓ⑦・協S(大田⑧、益田⑦)　R〆切 生徒会選挙告示
4	月	
5	火	火Ｓ⑧　人権教育講演会
6	水	
7	木	心と体の健康講座④
8	金	振替(12/10)
9	土	
10	日	本Ｓ⑧・協Ｓ(大田⑨、益田⑧)　R〆切
11	月	
12	火	火Ｓ⑨　社会人基礎力講座⑤
13	水	
14	木	
15	金	振替(12/17)
16	土	
17	日	本Ｓ⑨・協Ｓ(大田⑩、益田⑨) 後期大掃除
18	月	
19	火	火Ｓ⑩
20	水	R〆切
21	木	
22	金	振替(12/24)
23	土	
24	日	本Ｓ⑩・協Ｓ(益田⑩)
25	月	後期レポート合格しめきり
26	火	後期受験願発送
27	水	
28	木	
29	金	
30	土	
31	日	

1 月		
1	月	
2	火	
3	水	
4	木	
5	金	
6	土	
7	日	
8	月	成人の日
9	火	後期受験願受付しめきり
10	水	後期受験願一覧発送
11	木	
12	金	
13	土	
14	日	
15	月	
16	火	後期試験①(浜田)　作品展示
17	水	進研記述(１・２年)
18	木	↓
19	金	振替(1/21)
20	土	
21	日	後期試験②(浜田・大田・益田)
22	月	
23	火	後期試験③(浜田・大田・益田)
24	水	
25	木	探究〆切
26	金	振替(1/22)
27	土	
28	日	後期試験④(浜田・大田・益田)
29	月	
30	火	
31	水	

2 月		
1	木	
2	金	振替(2/4)
3	土	
4	日	再試験(浜田のみ)
5	月	進研共通テ(２年)
6	火	↓
7	水	
8	木	
9	金	
10	土	
11	日	建国記念の日
12	月	振替休日
13	火	追認試験
14	水	
15	木	
16	金	
17	土	
18	日	
19	月	
20	火	在校生授賞式　生徒総会
21	水	
22	木	
23	金	天皇誕生日
24	土	
25	日	
26	月	
27	火	
28	水	
29	木	卒業生授賞式ＡＭ　同窓会入会式 テーブルマナー講習会
冬季集団研修		

3 月		
1	金	卒業式
2	土	
3	日	
4	月	
5	火	
6	水	
7	木	
8	金	振替(3/10)
9	土	
10	日	在校生受講指導
11	月	
12	火	
13	水	
14	木	
15	金	
16	土	
17	日	
18	月	
19	火	
20	水	春分の日
21	木	
22	金	離任式
23	土	
24	日	
25	月	
26	火	
27	水	
28	木	
29	金	
30	土	
31	日	

2．教育課程表

課程	学科
通信制	普通科

教科・科目		単位数			主な学習開始年次			履修形態	履修単位数		備考
教科	科目	標準単位数	必履修科目	選択科目	1年次	2年次	3年次		前期	後期	
国語	現代の国語	2	2		◎			前期・後期分割	1	1	・「現代の国語」、「言語文化」は新課程。 ・「現代文Ｂ」、「古典Ｂ」は、旧課程「国語総合」を履修した後に選択できる。
	言語文化	2	2		◎			前期・後期分割	1	1	
	現代文Ｂ	4		4		○		前期・後期分割	2	2	
	古典Ｂ	4		4		○		前期・後期分割	2	2	
地理歴史	地理総合	2	2		◎			前期・後期分割	1	1	・「地理総合」「歴史総合」は新課程。 ・「世界史Ｂ」「日本史Ｂ」は、1単位以上をもっている生徒が履修できる。
	歴史総合	2	2			◎		前期・後期分割	1	1	
	世界史Ｂ	4	4			◎		前期・後期分割	2	2	
	日本史Ｂ	4	4				○	前期・後期分割	2	2	
公民	公共（ａ）	2	2		◎			前期または後期	1	1	・「公共」は、新課程。 ・「政治・経済」は、1単位以上をもっている生徒が履修できる。 ・（a)、(b)の同時履修可。履修順は問わない。
	公共（ｂ）								1	1	
	政治・経済（ａ）	1		2		○		前期または後期	1	1	
	政治・経済（ｂ）	1							1	1	
数学	数学入門（１）	学校設定科目		2	○			前期または後期	1	1	・数学は新課程。 ・「数学入門」は学校設定科目であり、「数学Ⅰ」を履修する前においてのみ選択できる。・「数学Ⅱ」は、「数学Ⅰ」を履修した後に選択できる。 ・「数学Ａ」は、「数学Ⅰ」と平行して、あるいは「数学Ⅰ」を履修した後に選択できる。
	数学入門（２）								1	1	
	数学Ⅰ（１）	3	3		◎			前期または後期	1	1	
	数学Ⅰ（２）								2	2	
	数学Ⅱ	4		4		○		前期・後期分割	2	2	
	数学Ａ	2		2		○		前期・後期分割	1	1	
理科	科学と人間生活	2	2		ア◎			前期・後期分割	1	1	・理科は新課程。 ・選択アで「科学と人間生活」を選択した生徒は、選択イで、「基礎」を付した科目のうち、必ず１科目以上履修する。 ・選択アで「基礎」を付した科目を選択した生徒は、選択イで別の「基礎」を付した科目を２科目選択する。
	物理基礎	2	2		◎	イ◎		前期・後期分割	1	1	
	化学基礎	2	2		◎	◎		前期・後期分割	1	1	
	生物基礎	2	2		◎	◎		前期・後期分割	1	1	
保健体育	体育（体育１）	7～8	2		◎			前期・後期分割	1	1	・保健体育は新課程。 ・「体育1」を履修した後に「体育2」、「体育3」の順に履修する。 ・「体育3」を履修した後に「体育4」、「体育5」の順に履修する。 ・「体育3」または「体育5」で終わるようにする。
	体育（体育２）		2			◎		前期・後期分割	1	1	
	体育（体育３）		3				◎	前期・後期分割	2	1	
	体育（体育４）		2			○		前期・後期分割	1	1	
	体育（体育５）		2				○	前期・後期分割	1	1	
	保健	2	2		◎			前期・後期分割	1	1	
芸術	美術Ⅰ	2	2		◎			前期・後期分割	1	1	・「美術Ⅰ」、「書道Ⅰ」は新課程。 ・「Ⅰ」を付した科目のうち、必ず１科目以上履修する。 ・「Ⅱ」を付した科目はそれぞれに対応する「Ⅰ」を付した科目を履修した後に選択できる。
	美術Ⅱ	2		2		○		前期・後期分割	1	1	
	書道Ⅰ	2	2		◎			前期・後期分割	1	1	
	書道Ⅱ	2		2		○		前期・後期分割	1	1	
外国語	英語入門（１）	学校設定科目		2	○			前期または後期	1	1	・「英語入門」「英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠ」「英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡ」は、新課程。 ・「英語入門」は学校設定科目であり、「英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠ」を履修する前においてのみ選択できる。 ・「英語入門」以外の科目については、前期始まりのみ開講する。 ・「英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡ」は、「英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠ」を履修した後に選択できる。
	英語入門（２）								1	1	
	英語コミュニケーションⅠ	3	3		◎			前期・後期分割	1	2	
	英語コミュニケーションⅡ	4		4			○	前期・後期分割	2	2	
	英語表現Ⅰ	2		2		○		前期・後期分割	1	1	
家庭	家庭総合	4	4		◎			前期・後期分割	2	2	・「家庭総合」は新課程。
情報	情報Ⅰ	2	2			◎		前期・後期分割	1	1	・「情報Ⅰ」は新課程。・単位をもっている生徒が履修できる。
共通科目単位数計		３７単位以上									
商業	ビジネス基礎	2～4		3		○		前期・後期分割	1	2	・「ビジネス基礎」「情報処理」は新課程。 ・単位をもっている生徒が履修できる。 ・商業の専門科目については前期始まりのみ開講する。
	簿記	2～4		4			○	前期・後期分割	2	2	
	情報処理	2～4		4		○		前期・後期分割	2	2	
家庭	消費生活	2～4		3		○		前期・後期分割	2	1	・「消費生活」「保育基礎」は新課程。 ・家庭の専門科目については、「家庭総合」を履修した後に選択できる。
	保育基礎	2～6		4			○	前期・後期分割	2	2	
	服飾手芸	2～4		2			○	前期・後期分割	1	1	
専門科目単位数計		０単位以上２０単位以下									
総合的な探究の時間		3～6	3			◎		通年	3		・単位をもっている生徒が履修できる。
特別活動		30単位時間以上	卒業までに３０単位時間以上								
単位数計		７４単位以上									
学校設定科目単位数計		０単位以上４単位以下									

（１）「主な学習開始年次」の◎は必履修科目を表し、○は選択科目を表す。

（２）「履修形態」の「前期・後期分割」は、履修単位を前期と後期に分割して履修することを意味する。単位認定は前期・後期の終了時に行う。

（３）「履修形態」の「前期または後期」は、前期と後期を同時に開講し、どちらか１つまたは一度にまとめて履修する事を意味する。
なお、（a)、(b)は同時履修可。履修順は問わない。(1)、(2)は数字の順に履修する。単位認定は前期または後期の終了時に行う。

（４）この教育課程は、令和５年度から適用する。　　新課程科目

３．令和５年度　開講講座一覧表

新課程科目

＜前期＞

教科名	講座名	単位数	レポート回数	面接時間数	試験	認定時期
国語	現代の国語（前）	1	3	2	有	9月末
	言語文化（前）	1	3	2		
	現代文Ｂ（前）	2	6	2		
	古典Ｂ（前）	2	6	2		
地理歴史	地理総合（前）	1	3	2		
	歴史総合（前）	1	3	2		
	世界史Ｂ（前）	2	6	2		
	日本史Ｂ（前）	2	6	2		
公民	公共（ａ）	1	3	2		
	公共（ｂ）	1	3	2		
	政治･経済（ａ）	1	3	2		
	政治･経済（ｂ）	1	3	2		
数学	数学入門（１）	1	3	2		
	数学入門（２）	1	3	2		
	数学Ⅰ（１）	1	3	2		
	数学Ⅰ（２）	2	6	2		
	数学Ⅱ（前）	2	6	2		
	数学A（前）	1	3	2		
理科	科学と人間生活（前）	1	3	4		
	物理基礎（前）	1	3	4		
	化学基礎（前）	1	3	4		
	生物基礎（前）	1	3	4		
保健体育	体育１（前）	1	1	5		
	体育２（前）	1	1	5		
	体育３（前）	2	2	10		
	体育４（前）	1	1	5		
	体育５（前）	1	1	5		
	保健（前）	1	3	1		
芸術	美術Ⅰ（前）	1	3	4		
	美術Ⅱ（前）	1	3	4		
	書道Ⅰ（前）	1	3	4		
	書道Ⅱ（前）	1	3	4		
外国語	英語コミュニケーションⅠ（前）	1	3	4		
	英語コミュニケーションⅡ（前）	2	6	8		
	英語表現Ⅰ（前）	1	3	4		
	英語入門（１）	1	3	4		
	英語入門（２）	1	3	4		
家庭	家庭総合（前）	2	5	4		
情報	情報Ⅰ（前）	1	3	2		
（専門）商業	ビジネス基礎（前）	1	2	3		
	簿記（前）	2	4	4		
	情報処理（前）	2	4	7		
（専門）家庭	消費生活（前）	2	4	4		
	保育基礎（前）	2	4	4		
	服飾手芸（前）	1	2	3		

＜後期＞

教科名	講座名	単位数	レポート回数	面接時間数	試験	認定時期
国語	現代の国語（後）	1	3	2	有	2月末
	言語文化（後）	1	3	2		
	現代文Ｂ（後）	2	6	2		
	古典Ｂ（後）	2	6	2		
地理歴史	地理総合（後）	1	3	2		
	歴史総合（後）	1	3	2		
	世界史Ｂ（後）	2	6	2		
	日本史Ｂ（後）	2	6	2		
公民	公共（ａ）	1	3	2		
	公共（ｂ）	1	3	2		
	政治･経済（ａ）	1	3	2		
	政治･経済（ｂ）	1	3	2		
数学	数学入門（１）	1	3	2		
	数学入門（２）	1	3	2		
	数学Ⅰ（１）	1	3	2		
	数学Ⅰ（２）	2	6	2		
	数学Ⅱ（後）	2	6	2		
	数学A（後）	1	4	2		
理科	科学と人間生活（後）	1	3	4		
	物理基礎（後）	1	3	4		
	化学基礎（後）	1	3	4		
	生物基礎（後）	1	3	4		
保健体育	体育１（後）	1	1	5		
	体育２（後）	1	1	5		
	体育３（後）	1	1	5		
	体育４（後）	1	1	5		
	体育５（後）	1	1	5		
	保健（後）	1	3	1		
芸術	美術Ⅰ（後）	1	3	4		
	美術Ⅱ（後）	1	3	4		
	書道Ⅰ（後）	1	3	4		
	書道Ⅱ（後）	1	3	4		
外国語	英語コミュニケーションⅠ（後）	2	6	8		
	英語コミュニケーションⅡ（後）	2	6	8		
	英語表現Ⅰ（後）	1	3	4		
	英語入門（１）	1	3	4		
	英語入門（２）	1	3	4		
家庭	家庭総合（後）	2	5	4		
情報	情報Ⅰ（後）	1	3	2		
（専門）商業	ビジネス基礎（後）	2	4	4		
	簿記（後）	2	4	4		
	情報処理（後）	2	5	7		
（専門）家庭	消費生活（後）	1	2	2		
	保育基礎（後）	2	4	4		
	服飾手芸（後）	1	2	3		

＜通　年＞

総合的な探究の時間	3	3	3	試験なし、認定時期：２月末

４．入学から卒業まで

入学から卒業まで、自分のペースに合わせて学べます。

入学資格（年齢制限はありません）

- 中学校を卒業した人
- 高校の転校を希望している人
- 高校を中退した人

必要書類を提出した上で受検し、合格すれば入学することができます。

入学

面接指導（スクーリング）	登校し、学習する。
レポート添削	自宅でレポート学習、教科担任が指導。
試　験	前期・後期試験を受ける。
特別活動	学校行事、ホームルーム活動、生徒会活動への参加。

在籍年数	単位の修得	特別活動出席
３年以上 （新入生の場合）	７４単位以上 ※必履修科目についてP3参照	３０単位時間以上 ※特別活動についてP30・31参照

卒　　業

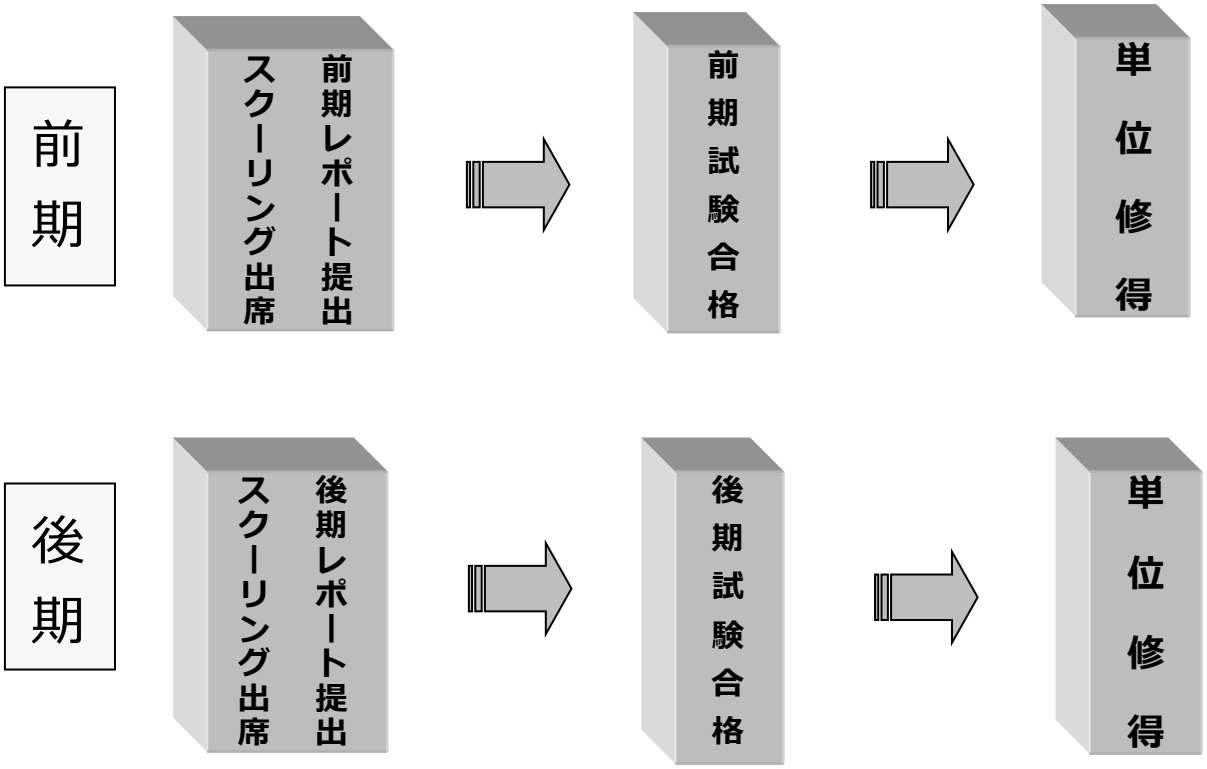
５．学習の進め方

通信制課程の学習で大切な３つのポイント

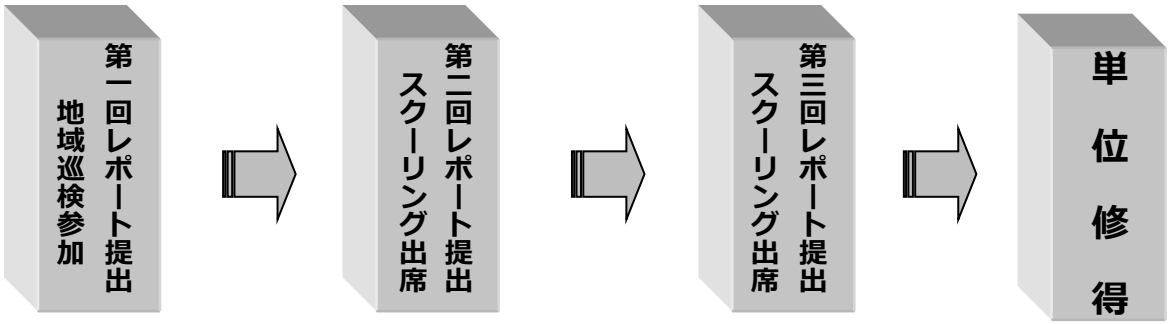
１．自学自習を原則とする
２．面接指導（スクーリング）※に出席する
３．計画的に学習を進め、レポートを作成・提出する

※正式名称は「面接指導」ですが以下「スクーリング」と記載します。

通信制課程の学習は、自分から進んで学習に取り組み、学習内容を自分のものとする積極的な態度が必要です。具体的には、スクーリングに出席したり、教科書・学習書による自学自習などによって、講座ごとに定められた回数のレポートを作成し、添削指導を受けることが中心になります。総合的な探究の時間を除いて年に２回試験があります。講座ごとに定められた受験資格の条件を満たすと受験することができます。講座ごとの学習内容は「シラバス」、レポート回数、最低限出席しなければならないスクーリング時間数などは、「開講講座一覧表」（Ｐ４）に示してあります。実行可能な学習計画を立て、計画的に学習を進めていくことが大切です。



総合的な探究の時間



６．スクーリングの流れ

登　　校

生徒証の携行	忘れた場合は仮生徒証を発行してもらいます。 （本校：職員室へ、協力校：出張教職員に申し出る）
出校表を記入	生徒番号、名前、その日の体温、体調、出席予定を必ず記入します。
連絡掲示物の確認	時間割やお知らせ、使用教室などを確認します。
その他	貴重品や荷物の管理は各自で。（本校：ロッカー施錠）

スクーリング出席

- 生徒証の提示
- 教科書、学習書、レポートの準備（出席する講座のレポートならどれでも可）（ない場合は出席にカウントされません）
- スクーリング終了後、講座バーコードシートに自分のバーコードシールを貼付

※空き時間は図書学習室（生徒控室）等で自習

出校表の確認	予定を変更した場合は訂正します。
その他	忘れ物等に注意しましょう。 （本校図書学習室の開放は 16：30 まで）

下　　校

７．スクーリングについて

スクーリングは、先生から直接指導を受ける大事な機会です。分からないところや疑問点等があれば、積極的に質問しましょう。年間の実施予定日は、「年間行事予定表」（Ｐ１・２）を参照してください。

※スクーリングに出席すると…

① 各科目における重要な学習事項と学習方法を身につけることができます。
② レポートに対応した授業なので、計画的に出席することで、レポートの作成に役立ちます。
③ 授業の他に、各種の特別活動に参加することができます。（Ｐ31・32 参照）

スクーリングに必ず持参するもの

○全　講　座：　生徒証、教科書、学習書、レポート、筆記用具、生徒バーコードシール
○体　　育：　体育館シューズ、ジャージ（運動のできる伸縮素材を用いた短パン・Ｔシャツでも可）
○美術・書道：　必要な用具一式、学習開始時に渡された教材
※必要な教材や用具を忘れると、授業に出席できない場合があります。

スクーリングの種類と実施内容

スクーリングには、浜田高校で実施するスクーリング（本Ｓ・火Ｓ）の他に、大田、益田の各協力校で実施する協力校スクーリング（協Ｓ）と巡回スクーリング（巡Ｓ）があります。各協力校に所属する生徒は、協力校でのスクーリングに加えて、浜田本校で実施する各種スクーリングにも出席することができます。本校地区に所属する生徒は、協力校スクーリング（協Ｓ）と巡回スクーリング（巡Ｓ）には出席することはできません。

１　本校スクーリング（本Ｓ）・火曜スクーリング（火Ｓ）

浜田高校で、日曜日及び火曜日に実施します。講義形式（通常の授業形式）の講座とレポート支援の講座を組み合わせて実施します。大田協力校・益田協力校所属の生徒も出席できます。

２　協力校スクーリング（協Ｓ）

大田、益田の協力校で、日曜日に実施します。
それぞれの協力校地区に所属する生徒だけが出席できます。
レポート支援の講座を開講し、各協力校地区の先生が指導します。

３　巡回スクーリング（巡Ｓ）

本校の教員が協力校へ出向き、講義形式（通常の授業形式）で指導します。

出席しなければならないスクーリング回数と出席の確認

1　スクーリング出席回数

講座ごとに出席しなければならない回数が決まっています。「開講講座一覧表」（Ｐ４）参照。事故・病気または悪天候による交通機関の運休等が起こりうることを考慮して、規定回数のスクーリングが完了するように計画しましょう。なお、試験時間スクーリング回数に加えません。公欠はありません。

2　出席の記録

スクーリングや特別活動への出席は、「講座バーコードシート」に生徒バーコードシールを貼り付けることで記録管理します。スクーリングや特別活動に出席するときには、生徒バーコードシールを必ず持参し、担当の先生の指示に従って、「講座バーコードシート」に貼り付けてください。生徒バーコードシールを貼り付けないと、出席したことになりません。

８．レポートについて

全日制では、毎日登校して授業を受けますが、通信制では、平素の学習は自宅で行います。この自学自習の成果を学校へ提出するのがレポートです。

提出されたレポートは、講座担当教員が添削し、本人に返します。添削されて返ってきたレポートは、必ず復習して大切に保管してください。試験はレポートから出題されます。

レポート作成の留意事項

1　各講座のレポートは、レポート発送日にピンク色の封筒で郵送されます。※「行事予定表（Ｐ１・２）及び「レポート配付・郵送日」（P34・35）参照。 自分が受講している講座のレポートが届いているか、**1 週間以内に**必ず確認してください。（1 週間を過ぎての申し出はすべて紛失扱いとなり、レポート再交付願の提出が必要になります。）

2　レポートは、配付されたものから順番に計画的に取り組みましょう。

3　レポートは、教科書・学習書をよく調べて**自分で**作成しなければなりません。他人のレポートの丸写しをした場合は、合格とはなりません。

4　正確な文字で、丁寧に作成してください（略字を使ってはいけません）。

5　解答欄に空欄がある場合は再提出となります。すべての解答欄をきちんと埋めて提出してください。

6　レポートの表紙の指定場所にバーコードシールを貼り、ルーム・生徒番号・氏名など必要事項をすべて記入してください。表紙にバーコードシールがない、記入漏れがある場合も再提出となります。

レポート提出についての注意事項

1　レポートの提出回数は、講座ごとに決まっています。※「開講講座一覧表」（P4）参照。

2　レポートの提出は**「提出しめきり日」までに**提出してください。また、「合格しめきり日」までにすべてのレポートが合格していなければ試験を受けることはできません。計画的に提出しましょう。※「レポートしめきり日一覧」（P34・35）参照。

3　レポートは、次の①～③のいずれかの方法で提出してください。

①　郵送

通信教育用の封筒（第４種郵便：右図）を使用し、必要事項を記入して、切手（100ｇまで 15 円）を貼って送付してください。

封筒はのり付けしてください（ホッチキスではとめないでください）。

封筒は本校レポート提出ボックス横に置いてあります。封筒（小）を使う場合は、レポートの表紙が外側になるように２つ折りか３つ折りにして封筒に入れてください。

②　本校の所定のボックスに投函

③　協力校は本校の出張教員に直接手渡し

※レポートの受付は 16：30 までです。

郵便で提出する場合は、しめきりまで余裕をもって提出してください。郵便事情が変わり、これまで以上に日数がかかるようになっています。

レポートの採点方法と合格について

＜旧課程科目＞

1　提出しめきり日までに提出し、80 点以上の場合が合格となります。

2　提出しめきり日までに提出し、80 点未満の場合は**再提出**となります。

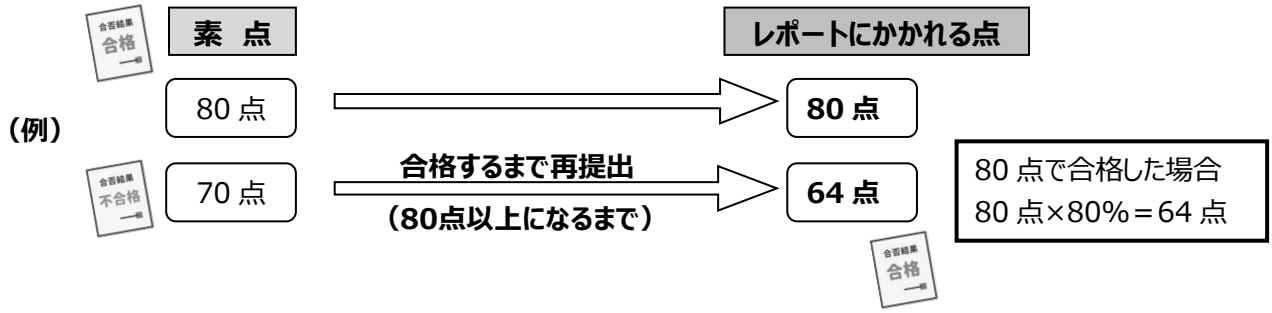
3　再提出の場合、合格するまで（80 点以上になるまで）提出してください。

80点以上で合格した場合、素点に80%をかけた点数（小数点以下切り上げ）がレポート点になります。

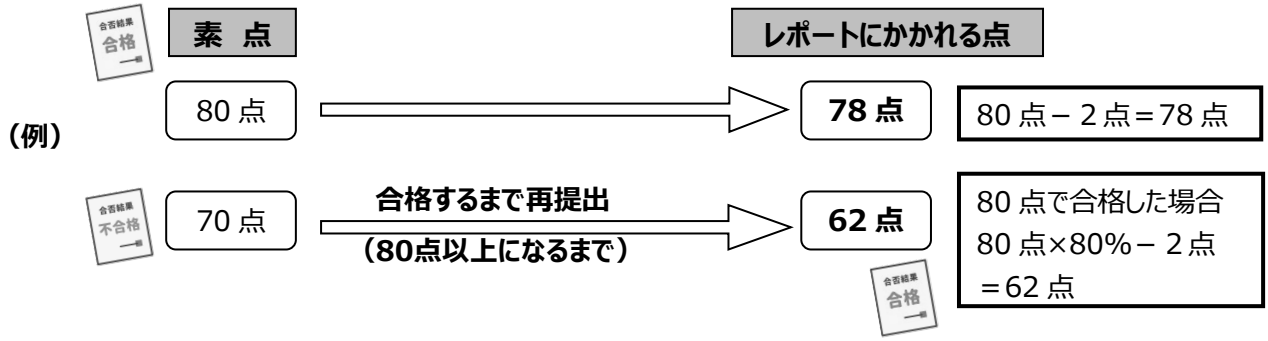
4　提出しめきり日を過ぎて提出した場合、一律にレポート点から２点減点します。

＜例＞

① 提出しめきり日までに提出した場合



② 提出しめきり日を過ぎて提出した場合（レポート点から２点減点）



＜新課程科目＞

1　提出しめきり日までに提出し、素点 80 点以上かつ各観点別評価が A か B の場合が合格となります。

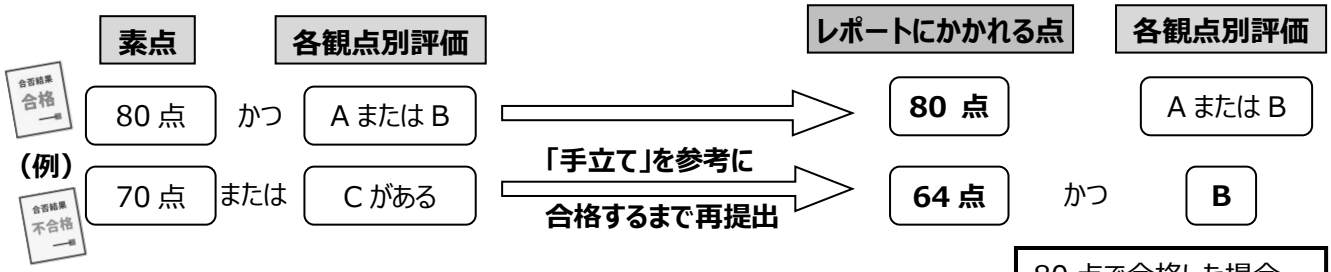
2　提出しめきり日までに提出し、素点 80 点未満または各観点別評価のどれかが C の場合は**再提出**となります。

3　再提出の場合、合格するまで（素点が 80 点以上、各観点別評価が B になるまで）提出してください。

4　提出しめきり日を過ぎて提出した場合、一律に「主体的に取り組む態度」から2点減点します。

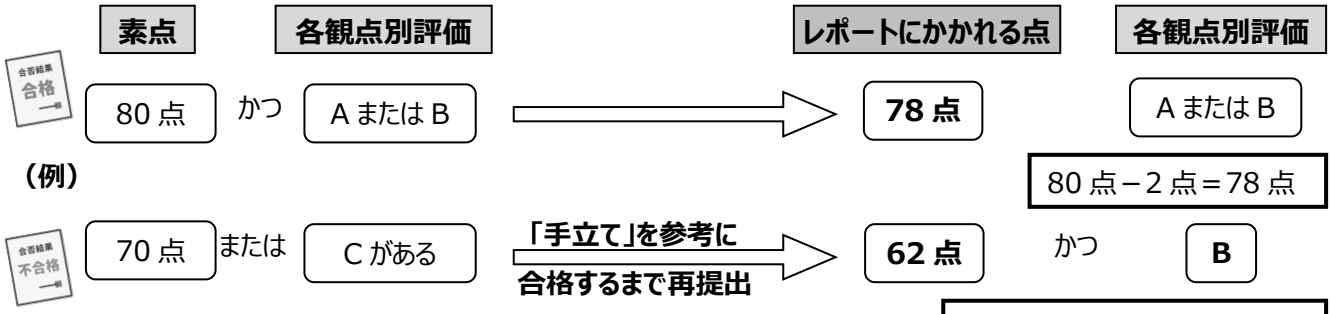
＜例＞

① 提出しめきり日までに提出した場合



80 点で合格した場合、
80 点×80％＝64 点

② 提出しめきり日を過ぎて提出した場合（レポート点から 2 点減点）



80 点で合格した場合、
80 点×80％－2 点＝62 点

※すべての講座において、**空欄（未記入箇所がある場合）、成果物なし、バーコードシールなしの場合、採点対象になりません。**再提出になりますが、しめきりまでに再提出された場合は減点対象にはなりません。

※各講座 1 日 1 回分の合格しか認めていません。

補足事項

1　スクーリングを有効に活用し、レポート作成に最大限役立ててください。

2　生徒バーコードシールがなくなりそうになったときには、早めに担任に申し出てください。
（残ったバーコードシールは次年度も使用できます）

3　レポートの返却は、原則週 1 回です。レポート提出後 10 日間経っても返却されない場合は、学校に問い合わせてください。

９．試験

試験は、前期試験と後期試験の２回に分けて実施します。試験の時間割、範囲、試験の要点など詳しいことは、「亀山通信」に掲載します。

（１）受験資格（前期・後期とも）

合格しめきり日までに、レポート回数及びスクーリング回数をクリアしていること

・レポートが合格しめきり日の 16：30 までに合格していない場合は、いかなる理由があろうとも受験資格が得られません。

・合格しめきり時間間際にレポートを提出すると、万一再提出になった場合は、当該講座の受験資格を失うことになるので余裕をもって提出するように心がけましょう。

（２）受験手続き

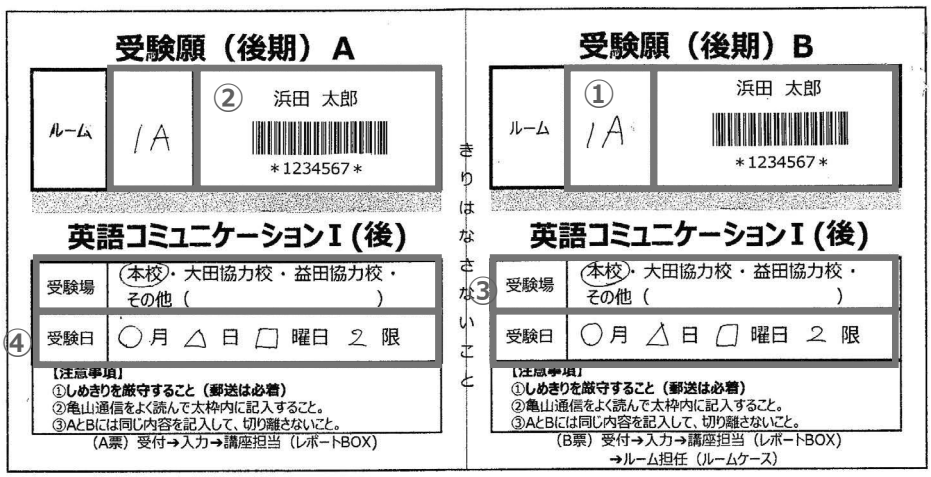
送られてきた受験願に必要事項を記入し、しめきり日までに提出すること

・受験資格を満たした科目については「受験願」を郵送します。

・「受験願」はしめきり必着です。しめきり時刻を過ぎた場合は、いかなる理由でも受験資格が得られません。

・しめきり日以後の受験日等の変更はできません。受験できなかった場合は再試験日に受験することになります。

＜受験願記入例＞



① ルーム名を記入する
② バーコードシールを貼る
③ 受験場所に○をする。協力校生徒のうち、その他会場で受検する人は会場名を記入する。
④ 試験時間割(亀山通信)を見て、受験日と時間を記入する。

※左右の同じ番号には、同じ内容を記入すること

（３）レポート合格しめきり日と受験願の受付しめきり日

	前期	後期
レポート合格	令和５年７月１９日（水）	令和５年１２月２５日（月）
「受験願」受付	令和５年８月３日（木）	令和６年１月９日（火）

※ 郵送の場合は、しめきり日の１６：３０必着です。（当日の消印有効ではありません。）

※ 直接、本校に来て提出する場合も、しめきり日の１６：３０までです。

（４）受験上の注意

・試験は厳正な態度で受けること。
・生徒証を携帯すること。忘れた人は、仮の生徒証を発行してもらうこと。
・机上には筆記用具のみ置くこと。
・レポート、教科書、学習書、ノート、筆箱、スマホ等の電子機器（電源オフ）、帽子、ひざ掛け等はカバンに入れ、指定された場所に置くこと。机の中には何も入れないこと。
・試験開始後５分以上遅刻した場合、受験できません。
・時間途中の退出はできません。
・不正行為と疑われるような行為をしないこと。

（５）結果の通知

試験結果は、後日、本人に通知します。

（６）追認試験

成績が認定基準に達しない場合には追認試験を行います。その場合は担任から連絡があります。

１０．放送視聴学習

（１）ＮＨＫ「高校講座」の利用について

ＮＨＫ「高校講座」は、自学自習を基本とする通信制のみなさんにぴったりの番組です。
ＮＨＫ・Ｅテレ、ラジオ第２放送(AM693KHz)で放送されています。

ＮＨＫ高校講座を利用すると、
①各科目で放送時間が毎週決まっているので、計画的に学習に取り組めます。
②スクーリングの予習・復習になります。
③レポート学習に取り組みやすくなります。
④試験前に番組を見ると試験対策にもなります。
⑤１つの番組は１０～２０分と短時間なので、集中して学習できます。

また、教科書や学習書を参考にしてもなかなか理解できない、レポートが進まないときなどに、ぜひ、ＮＨＫ高校講座を利用してください。番組の中で映像に合わせてゆっくり解説してくれますので、レポートも理解しやすくなります。

さらに、テレビ・ラジオ放送終了後には、スマートフォン、タブレット端末等で番組をいつでも視聴することができます。ぜひ利用してみてください。

スマートフォンやタブレット端末を利用すれば、
①自分の好きなときにいつでも見る（聴く）ことができます。
②繰り返し見る（聴く）ことができます。
③理解を助ける「学習メモ」を利用できます。
④「理解度チェック」で基本的な内容が理解できているか自分でチェックできます。

（２）番組時刻表(2023 年度)

◆E テレ

時刻＼曜日	月	火	水	木	金
10:00～10:20	現代の国語／公共	生物基礎	地理総合/歴史総合	英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠ	情報Ⅰ/科学と人間生活
10:20～10:30		化学基礎	日本史	ベーシック英語	数学A
10:30～10:40	数学Ⅰ			物理基礎	
10:40～10:50			世界史		家庭総合
10:50～11:00	ベーシック数学				
11:00～11:10					ビジネス基礎
11:20～11:30					美術Ⅰ／書道Ⅰ

◆ラジオ第 2

時刻＼曜日	月	火	水	木	金	土
19:30～19:50					古典	古典
19:50～20:10	数学Ⅱ	数学Ⅱ	現代文	現代文		政治・経済
20:10～20:30	英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡ	英語表現Ⅰ	保健体育		言語文化	言語文化

※本校で対象になる講座のみ示しています。

（３）視聴によるスクーリングの免除について

視聴した結果を「視聴報告書」にまとめて提出し、合格と認定された場合は、該当講座のスクーリングの一部が免除されます。前期は前期で学習する分野を、後期は後期で学習する分野を視聴してください。

テレビ講座・ラジオ講座とも該当講座を 2 回分視聴し、学習効果があったと認定されたとき、1 時間の面接時間数が免除されます。（1 回分あたり 0.5 時間のスクーリング出席とみなす）

（４）放送視聴学習により免除されるスクーリング時間数

教科名	講座名	スクーリング時間数	放送可能時数
国語	現代の国語（前）	2	1
	現代の国語（後）	2	1
	言語文化（前）	2	1
	言語文化（後）	2	1
	現代文Ｂ（前）	2	1
	現代文Ｂ（後）	2	1
	古典Ｂ（前）	2	1
	古典Ｂ（後）	2	1
地理歴史	地理総合（前）	2	1
	地理総合（後）	2	1
	歴史総合（前）	2	1
	歴史総合（後）	2	1
	世界史Ｂ（前）	2	1
	世界史Ｂ（後）	2	1
	日本史Ｂ（前）	2	1
	日本史Ｂ（後）	2	1
公民	公共（ａ）	2	1
	公共（ｂ）	2	1
	政治・経済（ａ）	2	1
	政治・経済（ｂ）	2	1
数学	数学入門（１）	2	1
	数学入門（２）	2	1
	数学Ⅰ（１）	2	1
	数学Ⅰ（２）	2	1
	数学Ⅱ（前）	2	1
	数学Ⅱ（後）	2	1
	数学A（前）	2	1
	数学A（後）	2	1

教科名	講座名	スクーリング時間数	放送可能時数
理科	科学と人間生活（前）	4	2
	科学と人間生活（後）	4	2
	物理基礎（前）	4	2
	物理基礎（後）	4	2
	化学基礎（前）	4	2
	化学基礎（後）	4	2
	生物基礎（前）	4	2
	生物基礎（後）	4	2
保健体育	体育１（前）	5	3
	体育１（後）	5	3
	体育２（前）	5	3
	体育２（後）	5	3
	体育３（前）	10	6
	体育３（後）	5	3
	体育４（前）	5	3
	体育４（後）	5	3
	体育５（前）	5	3
	体育５（後）	5	3
芸術	美術Ⅰ（前）	4	2
	美術Ⅰ（後）	4	2
	書道Ⅰ（前）	4	2
	書道Ⅰ（後）	4	2

教科名	講座名	スクーリング時間数	放送可能時数
外国語	英語入門（１）	4	2
	英語入門（２）	4	2
	英語コミュニケーションⅠ（前）	4	2
	英語コミュニケーションⅠ（後）	8	4
	英語コミュニケーションⅡ（前）	8	4
	英語コミュニケーションⅡ（後）	8	4
	英語表現Ⅰ（前）	4	2
	英語表現Ⅰ（後）	4	2
家庭	家庭総合（前）	4	2
	家庭総合（後）	4	2
情報	情報Ⅰ（前）	2	1
	情報Ⅰ（後）	2	1
商業	ビジネス基礎（前）	3	1
	ビジネス基礎（後）	4	2

（５）その他

・ 視聴報告書（P16～17）を各自でコピー（Ａ３　１枚）して作成してください。

・ 合格のしめきり日はスクーリング最終日です。余裕をもって提出してください。

視聴報告書①

ルーム		生徒番号		氏名		講座名	
番組名			主題			放送日	

内容（番組の要点を詳しく記入すること）

視聴報告書②

合格しめきり
前期： 7月16日（日）
後期：12月24日（日）

ルーム		生徒番号		氏名		講座名	

感想（視聴して感じたこと、印象に残ったこと、疑問点など）

※所見

のりづけ（再提出の場合）

※受付日	※評価	※認定時数	※講座担当	※ルーム担任
	合格 ・ 再提出	0.5		

1．視聴報告書を作成するときは、この用紙をコピーして提出すること。記述は、太線を超えること。記入スペースが足りない場合裏面に記入するか、別紙に記入して本紙にのり付けして提出すること。

2．視聴報告を２回行い、学習の成果が十分であると認められた場合、面接時数の１時間の代替を認定する。ただし、認定最大時数はＰ15 に記載している範囲内とする。

3．※印以外の欄はすべて記入すること。

１１．特別活動（特活）

（１）特別活動とは

高校での学習内容には、各教科の学習と特別活動の２つの柱があります。特別活動とは、学校行事・生徒会活動・ホームルーム活動など教科の学習を除く教育活動をいいます。

人間は常に社会の一員として生きていくもので、他人との関わりをなくしてしまうことはできません。特別活動は、見聞を広め、友人と交わり、集団で行動し生活する体験を通して、人間としてのよりよい生き方を身につけていくことを目的とした活動です。

卒業の条件として、特別活動に３０単位時間以上参加する必要があります。

（２）通信教育と特別活動

通信教育では、いろいろな理由で学習が進まなくなることがあります。そんなとき特別活動に参加して仲間と話し合ったり、スポーツを楽しむことで新しい意欲が生まれてくることがあります。

今までの卒業生の多くは、特別活動に参加して仲間をつくり、お互いに励ましあって卒業を迎えました。通信教育で学習する生徒にとって特別活動に参加することはとても大切なことです。

（３）特別活動の種類　※ 学校通信（亀山通信）で様子をお知らせします。

学校行事

全校集会、入学式、卒業式、転退任式、健康診断、防災訓練、宿泊研修
生活体験発表会、遠足、地域巡検　など

ホームルーム

大清掃、進学説明会、就職説明会、企業・学校見学、受講手続き、プレスクーリング
先輩から学ぶ会、人権教育講演会　など

ショートホームルーム（SHR）

本Ｓ、火Ｓ、協Ｓ、巡Ｓ　で実施します。
本校は放課後、協力校は昼休み中に実施します。

生徒会活動

生徒総会、校内レクリエーション、ボランティア活動、制作活動、定通体育大会
冬季集団研修、生徒会提案行事　など

今年度の年間計画（Ｐ３０～Ｐ３１）、学校行事の内容（Ｐ３２～Ｐ３３）を参照してください。

１２．履修認定と単位認定

（１）履修認定

次の２つの条件を満たしたとき、その講座の履修が認定されます。必履修科目については、すべて履修が認定されていないと卒業できません。

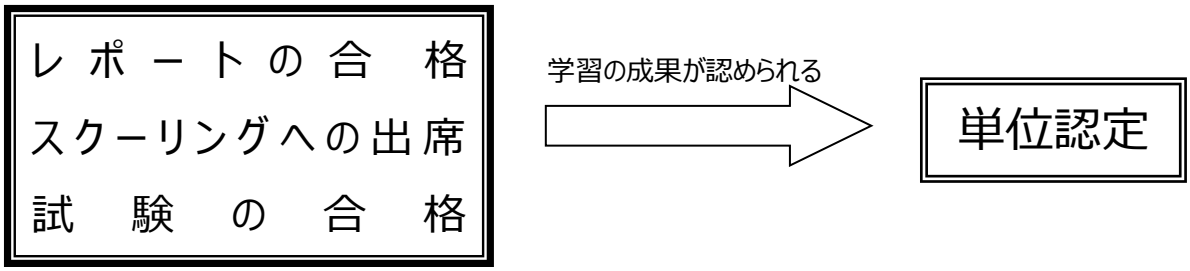
①　講座ごとに定められたレポートを提出し、合格していること。
②　講座ごとに定められた時間数以上のスクーリングに出席していること。

（２）単位認定

上記「履修認定」の条件を満たし、定められた回数の試験を受け、それらの成績を総合評価して、学習の成果が教科・科目の目標からみて十分であると認められると、単位認定されます。

「総合的な探究の時間」は、定められたレポートに合格し、定められた時間数以上のスクーリングに出席していると、単位認定されます。

単位修得に至るまでを図示すると、次のようになります。



（３）認定時期

単位の認定は半期ごと（前期試験終了後及び後期試験終了後）に行います。

また、通年科目の単位認定は年度末に行うため、１年を通して学習が完了していないと単位の認定はされません。

（４）評点と評定

学習が完了すると、学習の成果を評価します。５段階で算出したものを評定といいます。単位を修得した場合、５を最高に以下４、３、２の評定がつきます。単位を修得できない場合でも、履修が認定されると１の評定がつきます。

評定は、進学や就職の際、高校における学習状況の資料として、調査書に記載されます。

１３．通信制課程以外での学修の成果

通信制課程以外での学修の成果による単位認定には、通定併修、高等学校卒業程度認定試験合格科目、実務代替及び技能審査の成果による単位認定等があります。

本校の卒業に必要な単位として認定するにあたって、以下のような条件があるので注意してください。詳しいことは、ルーム担任に相談してください。

（１）単位認定の申請ができるものは、入学時を除き、本校在籍中に行った活動に限る。
（２）年度はじめの受講登録時に申請を行う。
（３）１年間に単位認定できるのは、受講登録した講座の単位数と合わせて３０単位までとする。
（４）卒業に必要な単位として認定する上限は次ページ表１のとおり。

（１）通定併修

通定併修とは、本校の定時制課程で開講している講座を受講して、単位を修得することができる制度のことです。通定併修で修得した単位は、卒業に必要な単位に加えることができます。

（２）高等学校卒業程度認定試験合格による単位認定

高等学校卒業程度認定試験で合格した科目は、本校の規定に従って単位認定し、卒業に必要な単位に加えることができます。ただし、単位認定の申請をする場合、全科目合格者は文部科学省発行の「合格証明書」（写し可）、一部科目合格者は「科目合格通知書」（写し可）が必要です。

（３）実務代替による単位認定

商業科目「ビジネス基礎」を受講する生徒または単位修得済みの生徒が、現にその科目と密接な関係にある職業に従事しており、その職業における実務等が「ビジネス基礎」の一部を履修したものと同様の成果があると認められるとき、その実務等をもって、「ビジネス基礎」に増加単位と認定することができます。

（４）技能審査の成果による単位認定

現在、職業資格付与のための試験や実践的技能・技術の能力の検定等を目的とした多種多様な検定試験、いわゆる技能審査が実施されています。

本校では、次ページ表２の技能審査に合格又はその特定の資格を取得した場合、その成果を対応する本校の教科・科目の増加単位として認定することができます。ただし、単位に認定の申請をする場合、当該技能審査の「合格証明書」（写し可）が必要です。

（５）浜田ビューティカレッジによる単位認定

本校に在籍しながら浜田ビューティーカレッジにも在籍する生徒について、校内で審議を経て単位認定が可能です。

＜表１＞単位認定上限数

(1) 校内併修　（通定併修）	既修得単位数０の生徒･･･なし 上記以外･･･年間１２単位	卒業までに ２４単位
(2) 高等学校卒業程度認定試験合格科目	卒業までに１６単位	
(3) 技能審査の成果	卒業までに１６単位	
(4) 実務代替	卒業までに２単位	
(5) 浜田ビューティーカレッジでの修得単位	卒業までに１１単位	
(6) 学校設定科目	卒業までに２０単位	

＜表２＞技能審査の成果による単位認定

教科	技能審査の種類	級･種別	対応科目	認定単位数	実施団体等
国語	日本漢字能力検定	２級以上	言語文化	2	(公財)日本漢字能力検定協会
地歴	歴史能力検定　世界史	２級以上	世界史Ｂ	2	歴史能力検定協会
	歴史能力検定　日本史	２級以上	日本史Ｂ	2	歴史能力検定協会
数学	実用数学技能検定	２級以上	数学Ⅱ	1	(公財)日本数学検定協会
理科	気象予報士	国家資格	科学と人間生活	2	(一財)気象業務支援センター
外国語	実用英語技能検定	２級以上	英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠ、英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡの内いずれか１科目	3	(公財)日本英語検定協会
	英語検定	１級	英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠ、英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡの内いずれか１科目	3	(公財)全国商業高等学校協会
芸術	硬筆書写技能検定	２級以上	書道Ⅰ	1	(一財)日本書写技能検定協会
	毛筆書写技能検定	２級以上	書道Ⅰ、書道Ⅱの内いずれか１科目	2	(一財)日本書写技能検定協会
家庭	毛糸編物技能検定	２級以上	服飾手芸	2	(公財)日本編物検定協会
	レース編物技能検定	２級以上	服飾手芸	2	(公財)日本編物検定協会
	全国高校家庭科技術検定　被服（和服）	１級	服飾手芸	2	全国高等学校 家庭科教育振興会
	全国高校家庭科技術検定　被服（洋服）	１級	服飾手芸	2	全国高等学校 家庭科教育振興会
	全国高校家庭科技術検定　保育	１級	保育基礎	2	全国高等学校 家庭科教育振興会
商業	情報処理検定（ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ部門）	２級以上	情報処理	2	(公財)全国商業高等学校協会
	情報処理検定（ﾋﾞｼﾞﾈｽ情報部門）	２級以上	情報処理	2	(公財)全国商業高等学校協会
	文書処理能力検定	２級以上	情報処理	2	(公財)全国経理教育協会
	基本情報技術者試験	国家資格	情報処理	3	経済産業省
	IT パスポート試験	国家資格	情報処理	3	経済産業省
	簿記実務検定	１級	簿記	3	(公財)全国商業高等学校協会
	簿記能力検定	１級	簿記	3	(公財)全国経理教育協会
	簿記検定	２級以上	簿記	2	日本商工会議所
	商業経済検定	２級以上	ビジネス基礎	2	(公財)全国商業高等学校協会
	販売士検定	２級以上	ビジネス基礎	2	日本商工会議所

１４．受講手続き　（「受講指導」→「受講手続き」）

学習を始めるには、受講する講座を決めて**「受講手続き」**をする必要があります。１年間の学習計画を立てる大事な手続きです。

在校生は、３月中旬の**「受講指導」**の日に出校し、ルーム担任の指導を受けて、来年度受講する講座を決めます。そして、新年度の始め（４月）に受講手続きを行います。定められた期間内に受講手続きを終えなければ、新年度の受講ができなくなりますので、注意してください。

新入学生は、新入学生１日入学の日に「受講指導」を受けるのと同時に受講手続きを行います。

※１年間に受講登録できる単位数（通信課程以外での学修の成果を含む）は、修得単位のない生徒は２４単位まで、修得単位のある生徒は３０単位までです。

※受講登録した講座の有効期間は１年間です。この間に単位修得できない場合は、新年度に改めて受講手続きをし、その学習を初めからやり直すことになります。(レポート、スクーリングともに０からのスタートです)

１５．卒業の条件

次の６つの条件がすべて満たし、校長が適当と認めた場合に、卒業が認められます。

（１）在籍期間	３年以上通信教育を受けていること。（新入生の場合）
（２）必履修科目	教科・科目の必履修科目をすべて履修していること。
（３）総合的な学習の時間 または総合的な探究の時間	３単位以上履修していること。
（４）修得単位	７４単位以上修得していること。
（５）特別活動	３０単位時間以上履修していること。
（６）そ の 他	・本校入学後、卒業するのに修得しなければならない単位数のうち、３分の２以上は通信制課程で修得していること。 ・転入生及び編入生は、本課程で１０単位以上の科目（「総合的な学習の時間」または「総合的な探究の時間」を含む）を履修していること。

■転入生及び編入生について

・前籍校で修得した科目の単位は、本校の規定に従って単位を認定します。

・前籍校での在籍期間も、本校の規定に従って卒業に必要な在籍期間に含みます。

・前籍校での活動状況（修得単位数）に応じて、特別活動時数を認定します。

１６．在籍年数

本校の通信制課程は、３年で卒業することが可能です。病気による休学などやむを得ない事情により３年間で卒業できない場合は、引き続き在籍が認められます。ただし、１０年間で卒業に必要な単位を修得できない場合、またはその可能性が高くなった場合は、引き続き在籍することはできません。転入生及び編入生は、前籍校での在籍期間も本校の規定に従って在籍期間に含みますので、注意が必要です。

１７．図書学習室の利用

読書のための利用だけでなく、出校時の自習の場として、図書学習室を利用する機会は多いと思います。ルールやマナーを守り、みんなで気持ち良く図書学習室を活用しましょう。

図書学習室を利用する際には、次の各事項を必ず守ってください。

（１）図書を借りる場合は、受付カウンターにある案内に従って自分で貸し出し手続きをしてください。
借りることのできる図書は３冊まで、貸出期間は２週間です。

（２）返却する際には、受付カウンターの返却箱に返却してください。

（３）購入希望図書があれば、教員に申し出てください。

（４）室内では静粛を心がけ、他の人に迷惑にならないようにしましょう。
携帯電話（スマホ）は使用しないでください。飲食は厳禁です。

１８．進路指導室の利用

進路指導室は、皆さんが将来を考えるときにサポートをするための部屋です。ここで資料を調べたり、担当の先生に相談をしたりすることができます。利用するに当たっては静かに閲覧する、飲食はしないなどマナーを守るようお願いします。また、使用したいときは、進路指導の先生や担任の先生に申し出てください。

※常設のパソコンも１台あります。大学情報の検索や就職求人票の閲覧等、有効に利用しましょう。
※図書学習室にも進路コーナーがあります。

１９．保健室の利用

保健室は、皆さんが健康な学校生活を送れるよう支援するところです。全員にとって利用しやすい環境であるよう以下の点に留意お願いします。

（１）登校前に体調が悪いときは、無理をして登校せず、自宅で療養するか、医療機関を受診してください。

（２）授業中に体調が悪くなったときは、授業担当の先生に申し出て許可を得てから来室してください。

（３）保健室での処置は、けがや体調不良に対しての一時的な応急処置です。必要に応じて医療機関を受診してください。

２０．スクールカウンセラー等への相談について

カウンセリングでは、皆さんの悩みや不安について傾聴するとともに問題解決のための過程を支援していきます。悩みや不安はひとりで抱え込まず、まずは相談してみてください。

スクールカウンセラー（ＳＣ）、スクールソーシャルワーカー（ＳＳＷ）、教育相談員への相談

① 本人、保護者の相談が可能です。
② 相談は原則として予約制です。希望者は、担任の先生か保健室へ連絡してください。
③ あなたの話した内容をあなたの許可なく他者に伝えることはありません。

※スクールカウンセラー（ＳＣ）

心理に関する高度な専門的知見を有し、生徒及びその保護者、教職員への支援に係る助言・援助等を行う。

※スクールソーシャルワーカー（ＳＳＷ）

福祉に関する専門性を有し、生徒のＱＯＬ（生活の質）の向上のため生徒が置かれた環境に働きかけ等を行う。

※教育相談員

心身の健康に対する専門性を有し、生徒及びその保護者の相談内容に教職員と連携し対応・行動する。

２１．学校生活のルール・マナー

充実した学校生活を送り、学習環境を良くするために、次のことを守りましょう。

（１）登校した時

① 生徒証を携帯する。
② 出校表に氏名・生徒番号とその日の予定を必ず記入する。
③ 通信制掲示版の伝達事項を確認する。
④ ＳＨＲには、できる限り出席し、今後の予定等を確認する。

（２）スクーリング

① チャイムは鳴らないので、時間は各自で確認して行動する。
② 携帯電話、スマートフォン等の電子機器は、電源を切って出席する。
③ ５分以上遅れた場合は出席扱いになりません。

（３）所持品について

① 私物は自己責任で管理する。
② 貴重品以外はロッカーを利用する。
③ 必要があれば、貴重品は担任などに預ける。

（４）校内生活一般について

① 勉学の場にふさわしい服装・頭髪を心がけ、良識ある言動をする。
② 集会や印刷物の掲示・発行・署名活動・募金活動を行う場合は、届け出て承認を得る。
③ 使用した教室・場所は、責任を持って整理・整頓・戸締りをする。
④ 教室では飲食をしない。昼食は指定された場所でする。持ち込んだゴミは各自で持ち帰る。
⑤ 自転車・オートバイ・自動車で通学する者は、指定された場所に駐輪・駐車する。
⑥ 学校敷地内はすべて禁酒・禁煙。違反した場合は、成人であっても懲戒処分の対象となる。

（５）校外での生活について

① 交通ルールを守り、事故の無いように心がける。
② やむを得ず長期間にわたって欠席する場合は、ルーム担任まで連絡する。
③ 犯罪などに巻き込まれた場合は、ルーム担任まで連絡する。
④ アルバイトなど仕事を始めたり、職場や住所が変更になったりした場合にはルーム担任まで連絡する。
⑤ 校舎内外にかかわらず、スマートフォン等通信端末機器の使用は公共のマナーを守り、利便性と危険性を理解し使用する。

２２．通学方法（通学に関する規定）

本校スクーリングにおいては、車両（自転車、原動機付自転車、自動二輪車、自動四輪車）を使用しての通学を希望する人は、ルーム担任に申し出て、下記の要領で申請してください。
車両通行証を発行しますので、厳守事項を確認して、事故の無いように心がけてください。

＜申請手続き＞

① **「通学車両申請書」**（本校指定書式）
② **「運転免許証」の写し**（自転車以外の車両）
③ **「自賠責保険証明書」・「任意保険証明書」の写し**（自転車以外の車両）
④ 自動四輪車については、**「車検証」の写し**

＜厳守事項＞

① 申請を認可された生徒は、定時制・通信制校舎の駐車場・駐輪場に駐車・駐輪しましょう。
② 「車両通行証」は以下のようにしてください。
　○自動四輪車…ダッシュボード上で、外部から視認できる位置に置く。
　○自転車・自動二輪車・原動機付き自転車…登校時に携行する。
③ 校地内は徐行（時速２０㎞以下）し、騒音を出してはいけません。
④ 指定の通学路を通行しましょう。（Ｐ４５　参照）
⑤ グランド側通学路（桜並木）は自転車・歩行者専用のため車両は通行禁止です。
⑥ その他上記事項に違反した場合は、「車両通行証」を返していただきます。
⑦ 万一不測の事態が起きても学校は一切責任を負いません。
⑧ **通学に使用する車両を変更したときは、その都度必要書類を提出してください。**

２３．通信制生徒の特典

（１）郵便料金の特別扱い

① 通信教育の教材は、第４種郵便物として扱われ、通信教育用封筒を利用すれば郵便料金が一般の郵便物よりも安くなるように配慮されています。

１００ｇまで１５円、１００ｇを超えるときは１００ｇ増すごとに１０円加算。

② 通信教育の教材とは、レポートや学習についての質問事項及び学習上の作品などです。それ以外の個人的な手紙や事務上の関係書類は、一般の郵便物として扱われますから注意してください。

③ 郵便物には、住所・氏名・生徒番号を明記すること。封筒にはもちろん、通信文や質問など中に入れる用紙にも必ずルーム・生徒番号・氏名を忘れないように記入してください。

（２）教科書・学習書給与

一定の条件を満たした場合には教科書と学習書の代金が給与されます。

（教科書と学習書の代金がいりません）

（３）奨学金制度（※金額等はいずれも令和５年度のもの）

○ 島根県育英会高等学校等奨学資金

自宅通学生 月額 １８，０００円　自宅外通学生 月額 ２３，０００円

＜応募資格＞

島根県出身の生徒等であって、学習意欲が旺盛でありながら経済的な理由により修学することが困難な者。

○ その他の奨学金

定時制・通信制の生徒を対象とする様々な奨学金があります。また、進学希望者のための予約奨学金制度もあります。（詳細については奨学金担当者にお問い合わせください。）

（４）ＪＲ等乗車賃学生割引制度

① 乗車券割引（ＪＲ）

片道 100 ㎞を超えた場合に 20%の割引があります。進学・就職のための受験などの場合に利用できます。

② 回数券割引（ＪＲ）

スクーリング等に出席するために利用する場合、回数券を半額で購入できます。これは、通信教育生のみに認められた特典です。

※スクーリング等に出席する目的以外には使用できません

（５）勤労学生控除

年間所得が一定額以下の場合、所得税・県民税・市町村民税について勤労学生控除が適用されます。詳しいことは、職場や税務署に問い合わせてください。

２４．事務手続き

（１）学校への連絡

① 次のような変更・異動があった場合は、必ず学校へ届け出なければなりません。
（ア）休学後復学するとき
（イ）学修活動を休止するとき
（ウ）住所を変更したとき
（エ）姓が変わったとき
（オ）電話番号を変更したとき

② 次の場合は、速やかに所定の様式により願い出て手続きをしなければなりません。
（ア）転学するとき（転学願）
（イ）退学するとき（退学願）
（ウ）住所を変更したとき（氏名変更・住所変更届）
（エ）姓が変わったとき（氏名変更・住所変更届）
※用紙請求はルーム担任の先生へ申し出てください。

（２）生徒証について

① 入学時に写真を撮り作成します。交付料２００円は、特別活動会計からいただきます。
② 有効期限は１０年です。在学中は大切にしてください。卒業または退学等で籍がなくなる時には、学校へ提出します。
③ 再交付が必要な場合は、「再交付願」を提出します。
・ 紛失および破損した場合は、５００円で再交付します。
・ 住所、姓が変わった場合には、無償で再交付します。
④ 登校時には携行し、スクーリングおよび試験に参加してください。

（３）各種証明書の交付

① 生徒証を入学時に交付します。なくした場合には再交付代として５００円かかります。
② 下表の証明書の交付を受けたいときは届・願を提出しなければなりません。電話による請求も受け付けています。

届・願	備　　考
在学証明書	・請求する用紙は職員室にあります。
学　割　証	・請求する用紙は職員室にあります。担任の先生の印鑑をもらってから事務へ提出してください。
学業成績証明書	・請求する用紙は職員室にあります。担任へ依頼してください。
単位修得証明書	
調　査　書	
卒業見込証明書	・請求する用紙は職員室にあります。事務へ依頼してください。
卒業証明書	

成績証明書・単位修得証明書・調査書・卒業証明書の交付申請書はホームページからでもダウンロードできます。

③ **在校生は無料です。**（卒業生は有料です）
卒業した年の３月３１日（消印有効）までは無料です。

(ｱ) 有料となる証明書は以下のとおりです。

卒業証明書、成績証明書、単位修得証明書、調査書、資格取得証明書、推薦書、
関係書類の保存年限切れによる発行不能証明書、その他各種証明書

(ｲ) 手数料の額は１通につき５００円です。

各種証明書とも共通料金です（すべて１通につき５００円）

(ｳ) 手数料の支払方法は以下のとおりです。

○窓口申請の場合
学校事務室で現金にてお支払い下さい。なお、つり銭がいらないように手数料を用意して下さい。つり銭が必要な場合、交付申請を受理できない場合があります。

○郵送による申請の場合
最寄りのゆうちょ銀行又は郵便局で、郵送為替証書（定額小為替証書又は普通為替証書）を購入し、申請書に同封して郵送して下さい。

(ｴ) その他

○証明書の交付には証明書交付申請書と本人確認書類が必要です。（運転免許証、健康保険証、個人番号カード、住民基本台帳カード、パスポートなど。郵送の場合は写しを添付）

○各種証明書は、原則、即日交付はできません。証明書の種類により、交付には平日で数日から１０日程度を要します（郵送での交付の場合はさらに郵送による日数がかかります。申請は日数に余裕を持って行って下さい）。

○郵送による申請の場合は返信用封筒・返信用切手が必要です。

○証明書は発行可能な年限がありますのでご注意下さい。

○成績証明書：卒業後５年間
○単位修得証明書：卒業後２０年間
○卒業証明書は永年発行など

【詳しくは学校事務室にお問い合わせ下さい】

２５．学校感染症による出席停止（出校停止）

学校は生徒が集団で過ごす場であり、そこで発生する感染症の流行を予防することは、望ましい学習環境を維持するために大切です。体調不良を感じるような場合は、早めの医療機関への受診をお願いします。また、下記の表は主な感染症と学校保健安全法で定められている出席停止の期間です。該当する感染症にかかった時は、医師の指示及び下記の表に従い、自宅での十分な療養をお願いします。

〈感染症および出席停止の期間〉

病　　名	出 席 停 止 期 間
新型コロナウイルス感染症	治癒するまで
インフルエンザ （特定鳥インフルエンザを除く）	発症した後５日を経過し、かつ解熱後２日を経過するまで
百日咳	特有の咳が消失するまで又は５日間の適切な抗菌薬療法が終了するまで
麻しん（はしか）	熱が下がって３日を経過するまで
風しん（三日ばしか）	発疹が消失するまで
流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	耳下腺、顎下腺又は舌下腺の腫脹が発現した後５日間を経過し、かつ全身状態が良好になるまで
水痘（みずぼうそう）	すべての発疹がかさぶたになるまで
咽頭結膜熱（プール熱）	主要症状が消退した後２日を経過するまで
結核	医師が感染のおそれがないと認められるまで
髄膜炎菌性髄膜炎	医師が感染のおそれがないと認められるまで

２６．独立行政法人日本スポーツ振興センター「災害共済給付制度」

独立行政法人日本スポーツ振興センターの災害共済給付制度は、学校の管理下において生徒が災害(負傷、疾病、傷害又は死亡)に遭った場合、その治療費や見舞金の給付を保護者等に対して行う制度で、原則全員が加入します。

（１）給付の種類と給付される場合

学校の管理下で生じた事由による負傷や疾病の医療費、これらの負傷又は疾病が治った後に傷害が残ったときの傷害見舞金及び負傷又は疾病に直接起因する死亡に対する死亡見舞金が給付されます。

なお、学校の管理下とは、次の場合をいいます。

①授業中	③始業前、休み時間、放課後
②課外指導中(学校行事、生徒会活動等)	④通常の経路及び方法による通学中

（２）共済掛金（年額）

保護者等負担額　220 円　※掛金は受講手続きの際の諸経費に含まれています。

感染症にかかった場合や、災害共済給付の対象となる負傷や疾病が生じた時には、担任又は保健室にご連絡ください。

２７．携帯メールによる連絡網登録のお願い

（１）携帯メール

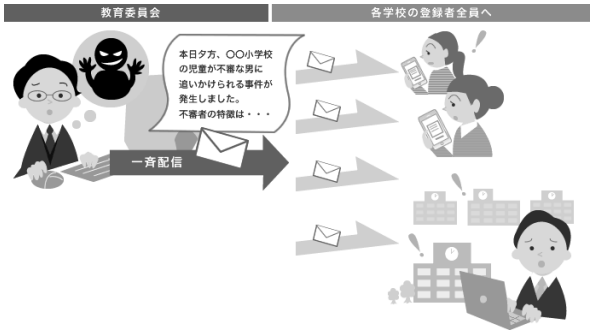
本校では昨年度より一斉メール配信システムを利用しています。特に毎日学校に来ることのない通信制の生徒、保護者の皆さんにとっては重要な連絡手段となります。天候等による急な時間変更など、メール配信システムを利用する機会が多々考えられますのでまだ登録が済んでいない方はぜひ、登録してください。登録の仕方についてはルームにより異なりますので、学校にお問い合わせください。ホームページからも登録できます。

また、**現在登録されている方も、ルームが変わった場合には、新たに登録が必要になります。**詳細については学校にお問い合わせください。

なお、登録されたアドレスは個人情報として管理し、管理者からのメール配信以外に使用いたしません。

（２）Google Workspace（グーグル　ワークスペース）の利用

ＩＣＴを活用した連絡や学びを進めていくため、Google Workspace を利用しています。通信課程では、自宅のパソコンやタブレット、スマートフォン等の情報端末を使用して、各教科からの連絡や特別活動の申し込み等の活用をしていきます。生徒アカウント管理での生徒氏名の利用と、自宅で契約されているインターネット回線を利用させていただくため、承諾書の提出が必要になります。



２８．ホームページについて

アドレス

https://teitsu.hamakou.ed.jp/

大切なお知らせや、日々の活動の様子、
また学習支援として服飾手芸の編み物と
書道の動画を掲載しています。
この学習のてびきも載せています。
ぜひ、見てください。

２９．令和５年度　浜田高校通信制「特別活動」年間計画

令和５年４月現在

通信制教育では、卒業条件の一つとして、卒業までに「特別活動 30 単位時間以上の参加」が必要です。内容、単位時間数を参考にして、参加についても学習計画をたてる目安にしてください。学校行事の内容については、P 32～33 を参照にしてください。

- 実施時間帯については、時間割に組み込んだり、放課後に実施する場合があります。時間割や事前のお知らせを確認してください。
- この他にも、各スクーリング時に実施される SHR に参加すると、「特別活動 0.5 時間」のカウントになります。

【前期】

期　日		場　所	内　　容	参加対象者	時間数	HR 活動	生徒会活動	学校行事
４月	９日（日）	浜田高校	在校生受講手続き	在校生全員	1	○		
	１６日（日）	浜田高校	入学式（新入生）	前期入学生	1			○
	２３日（日）	浜田高校	全校集会・レポート配布	全員	1			○
	２５日（火）	浜田高校	プレスクーリング	前期入学生・希望者	最大３	○		
	２６日（水）	大田・益田						
５月	９日（火）	浜田高校	情報モラル教育講演会	希望者	1	○		
	１４日（日）	浜田高校	ＨＲ「学習の進め方」	希望者	1	○		
	２３日（火）	浜田高校	生徒総会	全員	1		○	
	３０日（火）	浜田高校	進学説明会	進学希望者	1	○		
			社会人基礎力講座①	卒業予定生・希望者	1	○		
６月	６日（火）	浜田高校	公社健康診断	全員	2			○
	８日（木）	未定	遠足	希望者	6			○
	１０日（土）	宍道高校	県定通体育大会	希望者	6		○	
	１３日（火）	浜田高校	心と体の健康講座①	希望者	1			○
	１３日（火）	浜田高校	避難訓練	全員	1			○
	１４日（水）	未定	第1回企業・学校見学	卒業予定生・希望者	6	○		
	２０日（火）	浜田高校	ＨＲ「進路探究①」	進学希望者	1	○		
	２７日（火）	浜田高校	就職説明会	就職希望者	1	○		
７月	４日（火）	浜田高校	校医検診	全員	1			○
	９日（日）	浜田高校	生徒会提案行事	希望者	2		○	
	１６日（日）	大田・益田・浜田	前期末大そうじ	希望者	1	○		
	１１日（火）	浜田高校	社会人基礎力講座②	卒業予定生・希望者	1	○		
	１２日（水）	浜田高校	進路ガイダンス	通信制希望者 定時制昼間部	2	○		
８月	上旬または 下旬	未定	全国定通体育大会 （県代表者） ＜競技ごとの日程により ２泊３日～３泊４日 程度＞	県代表選手	１日 あたり 6		○	

【後期】

期 日		場 所	内 容	参加対象者	時間数	HR活動	生徒会活動	学校行事
９月	４日（月）	浜田高校	着こなし講座	卒業予定生・希望者	2	○		
10月	１日（日）	浜田高校	入学式（新入生）	後期入学生	1			○
	７日（水）	浜田高校	創立130周年記念式典	希望者	2			○
	８日（日）	浜田高校	全校集会・レポート配布	全員	1			○
	１０日（火）	浜田高校	プレスクーリング	後期入学生・希望者	最大３	○		
	１１日（水）	大田・益田						
	１２日（木）	宍道高校	県生活体験発表大会	校内の代表者２名	6			○
	１５日（日）	浜田高校	ＨＲ 「学習の進め方」	希望者	1	○		
	１７日（火）	浜田高校	社会人基礎力講座③	希望者	1	○		
	18日（水）～１９日（木）	江津少年自然の家	宿泊研修	希望者	１０			○
	２２日（日）	浜田高校	防災学習	希望者	1			○
	２４日（火）	浜田高校	定通合同スポーツ大会	通信制希望者 定時制昼間部	2	○		
11月	５日（日）	益田翔陽高校	防災学習	希望者	0.5			○
	８日（水）	未定	企業・学校見学②	希望者	6	○		
	７日（火）	浜田高校	心と体の健康講座②	希望者	2			○
	１２日（日）	大田高校	防災学習	希望者	0.5			○
	１４日（火）	浜田高校	社会人基礎力講座④	希望者	1	○		
	１９日（日）	浜田高校	先輩から学ぶ会	希望者	1	○		
	２６日（日）	浜田高校	生徒会提案行事	希望者	2		○	
	２１日（火）	浜田高校	心と体の健康講座③	希望者	1			○
	２８日（火）	浜田高校	ＨＲ「進路探究②」	希望者	1	○		
12月	５日（火）	浜田高校	人権教育講演会	希望者	1	○		
	６日（水）	浜田高校	進路ガイダンス	通信制希望者 定時制昼間部	2	○		
	７日（木）	浜田高校	心と体の健康講座④	希望者	1			○
	１２日（火）	浜田高校	社会人基礎力講座⑤	希望者	1			
	１７日（日）	大田・益田・浜田	後期末大掃除	希望者	1	○		
２月	２０日（火）	浜田高校	生徒総会・在校生授賞式	在校生全員	1		○	
	未定	未定	冬季集団研修	希望者	4		○	
	２９日（木）	浜田高校	卒業生授賞式	在校生希望者	1			○
３月	１日（金）	浜田高校	卒業式	在校生希望者	2			○
	１０日（日）	浜田 大田・益田	在校生受講指導	在校生全員	1	○		
	２２日（金）	浜田高校	転退任式	在校生希望者	1			○

①遠足や生徒会提案行事など、内容詳細が未定のところがあり、カウント数や内容等が変わる可能性があります。その都度、案内を確認してください。

②生徒会執行部の提案や行事の追加などにより、特別活動が追加される可能性があります。できるだけ早めにお知らせします。

③指導体制や環境面の事情により、協力校で実施できないものもありますが、協力校の皆さんもできるだけ都合をつけて本校（浜田高校）の行事にも積極的に参加しましょう。

３０．学校行事の内容

４月	在校生受講手続き	在校生が3月にルーム担任と相談した上で、年間受講する講座を決定し、受講願（氏名直筆）を学校へ提出。
	前期入学式	前期入学生の入学式をサブアリーナで実施。
	前期新入生１日入学	前期入学生が１年間学習する講座を決め、受講願を提出。
	前期全校集会	新入生を含め、通信制の活動生が一堂に会する。集会後にルームごとに分かれて、教科書・学習書、前期レポートを受け取る。
	前期プレスクーリング	ルーム担当とスクーリング計画を立てて、実際にレポートに取り組む。
	本Ｓ①	本校スクーリング第1回の略。浜田定通校舎で実施するスクーリングが始まる。
	協Ｓ①	協力校スクーリング第1回の略。大田高校、益田翔陽高校で実施するスクーリングが始まる。
	火Ｓ①	火曜スクーリング第1回の略。浜田高校定通校舎のみで実施する。午後からは、定時制の生徒も登校。
５月	進路適性検査（卒予生）	進路適性を知るための検査を実施。卒業予定生対象。
	情報モラル教育講演会	定通合同でKDDIの専門講師を招き、スマホによるSNSを中心としたインターネットの利便性と危険性について学ぶ。
	ＰＴＡ総会	定時制・通信制合同で実施。
	第１回生徒総会	新役員紹介、昨年度活動のふり返り、今年度の活動予定など。
	進学説明会	進学希望者向けに説明会・個別相談会を実施。
	社会人基礎力講座①	社会人に必要な力を身に付けるための講座。昨年度は「履歴書の書き方」をテーマに実施。
６月	巡Ｓ①	巡回スクーリング第1回の略。本校の教員が大田・益田の協力校に出かけて行き、授業を実施。
	保護者会	本校の教員と保護者の方の懇談会。保護者同士の交流の場にもなっている。
	健康診断	環境保健公社による健診を実施。職場で受ける人、病院で受ける人以外は必ず受診。
	遠足	バス遠足（過去の行き先は、出雲大社、広島の工場見学、宮島等）。
	県定通体育大会	島根県内の定時制・通信制生徒の全国大会の予選を兼ねた総合体育大会。昨年度は卓球、バドミントン、陸上競技に出場。
	地域巡検	大田・浜田・益田地域をそれぞれ1日かけて体験学習をしながら巡る。総合的な探究の時間を受講している生徒は必参加。希望者も可。
	避難訓練	火災等の緊急時に迅速に対応できるよう本校校舎で訓練を行う。
	心と体の健康講座①	「性教育講演会」を実施.
	企業・学校見学①	島根県西部地域の企業・学校を訪問する。昨年度は大田・江津圏域を中心に実施。主にその年度の卒業予定生を対象として実施。
	進路探究①	コミュニケーションスキルの向上を目的とした講座。昨年度は「小論文の書き方について」をテーマに実施。
	就職説明会	就職希望者向けに説明会・個別相談会を実施。
	進路適性検査(在校生)	進路適性を知るための検査を実施。在校生対象。
７月	校医検診	校医による眼科・耳鼻科・歯科検診を実施。職場で受ける人、病院で受ける人以外は必ず受診。
	生徒会提案行事	昨年度は「ボーリング大会」を企画したが、中止。
	前期大掃除	本校、協力校で実施。
	社会人基礎力講座②	社会人に必要な力を身に付けるための講座。昨年度は「面接の受け方」をテーマに実施。
	前期レポート合格しめきり	前期レポートすべての合格しめきり。16:30までに合格している必要あり。
	前期受験願発送	前期レポート、スクーリングが完了した講座について、受験願を学校から発送。
８月	前期受験願しめきり	16:30提出しめきり。提出がない場合、受験資格喪失。
	前期試験	前期レポート範囲の試験。本校・協力校で実施。
	全国定通体育大会	県大会で出場権を得た選手が、校内審議を経て県代表・学校代表として出場。東京都を中心に関東地区が会場になる。
９月	再試験	あらかじめ選択した試験日に受験できなかった場合、再試験届を出して受験。本校で実施。
	追認試験	試験で合格に達しなかった場合、指導を受けた上で受験。本校で実施。

9月	社会人着こなし講座	就職試験等での身だしなみや作法を学習。卒業予定生対象。
	前期卒業式	前期卒業式を多目的教室で実施。
10月	後期入学式	後期入学式を多目的教室で実施。
	後期新入生１日入学	後期入学生が後期に学習する講座を決め、受講願を提出。
	後期全校集会	後期入学生を含む通信制活動生が一堂に会する。後期レポートを受け取る。
	後期プレスクーリング	ルーム担当とスクーリング計画を立てて、実際にレポートに取り組む。
	社会人基礎力講座③	社会人に必要な力を身に付けるための講座を実施。昨年度は「ビジネスマナー」をテーマに実施。
	県生活体験発表大会（※１）	島根県の定時制・通信制（宍道高校（定・通）、松江工業（定）、浜田（定・通））各学校の各課程より2名ずつ代表生徒が発表する。県大会で優勝すると、11月開催の全国大会（東京都会場）へ出場できる。昨年度は、1名が県大会で優勝し、全国大会へ出場した。
	防災学習	災害に際して安全に身を守れるよう、本校及び協力校で学習会を行う。
	定通合同スポーツ大会	定時制と合同で行う。昨年度は、男子バスケットボール、女子ドッヂビー。
	宿泊研修	集団研修を通して生徒同士の親睦を深め、協働の力やチャレンジ精神などを高めるために江津の少年自然の家で実施。昨年度は日帰り研修として実施。
11月	企業・学校見学②	島根県西部地域の企業・学校を訪問する。昨年度は浜田・益田圏域を中心に実施。主に次年度の卒業予定生を対象として実施。
	心と体の健康講座②	食育講演会を実施。
	先輩から学ぶ会	浜田高校通信制卒業の先輩の話を聞き、今後の進路について考える。
	心と体の健康講座③	心や体の疲れを和らげるリラクゼーション法について体験することで理解を深める。昨年度は「アロマ講座」を実施。
	社会人基礎力講座④	来年度以降卒業生向けの就労セミナー。昨年度は「自己理解」について実施。
	生徒会提案行事	昨年度は「ケーキデコレーション」を実施。
12月	社会人基礎力講座⑤	社会人に必要な力を身に付けるための講座を実施。
	生徒会課程代表選挙立候補者募集	次年度の通信制生徒会の課程代表立候補者、その他役員の募集と選挙日程について示す。
	心と体の健康講座④	薬物乱用防止講座。医薬品や正しい使い方について理解を深める。
	後期大掃除	本校、協力校で実施。
	後期レポート合格しめきり	後期レポートすべての合格しめきり。16:30までに合格している必要あり。
	後期受験願発送	後期レポートが完了した講座について、受験願を学校から発送。
	後期受験願しめきり	16:30提出しめきり。提出がない場合、受験資格喪失。
１月	生徒会課程代表選挙投票	後期試験中に投票を実施。
	後期試験	後期レポート範囲の試験。本校・協力校で実施。
	再試験	あらかじめ選択した試験日に受験できなかった場合、再試験届を出して受験。本校で実施。
２月	追認試験	試験で合格に達しなかった場合、指導を受けた上で受験。本校で実施。
	第２回生徒総会	新旧生徒会役員の交代。１年間の生徒会活動を振り返る。在校生の校内賞（亀山賞（※２））などの授賞式も実施。
	冬季集団研修	集団活動を通して、学校生活の充実や地域社会についての見識を広げる。昨年度は、ウィンタースポーツ、ジオラマ制作講習を実施。
	卒業生授賞式	卒業予定者対象の各種授賞式。
	同窓会入会式	全定通合同で、全日体育館で実施。
	会食マナー講習会	卒業予定者対象に実施。昨年度はホテル「松尾」で開催。
３月	卒業式	全定通合同で、全日制体育館で実施。
	在校生受講指導	来年度の受講講座をルーム担任と相談して決める。本校・協力校で実施。
	離退任式	定通合同、本校多目的室で実施。

※１　生活体験発表大会は、生徒が日々の学校生活を通して学んだ事や体験したことを発表する機会です。６月中旬に全校生徒へ呼びかけ、７月中旬に校内選考を行います。生徒会誌「伊久里」に前年度のものが載っています。

※２　校内賞（亀山賞）とは、将来の進路に向けて検定に合格、学業と仕事を両立させて頑張った生徒、またスポーツ・文化・芸術に関して活躍した生徒について校内審議を経て表彰されるものです。

その他

「生徒会提案行事」は生徒会役員を中心に実施内容を相談し、決定次第案内します。

過去に「バーベキュー」「校内スポーツ大会」「映画鑑賞会」「クリスマスケーキ作り」「ニュースポーツ(ボッチャ)」「ジオラマ制作」等を実施。ボランティア活動にも力を入れ始めています。

３１．レポート配付日・発送日・しめきり日一覧

Ｒ５前期

【①～⑥、❶～❻はレポートの第1～６回を表しています】

講座名	レポート回数	4月23日(日) 配布日 1	5月8日(月) 郵送日 2	5月21日(日) しめきり日【1】	5月29日(月) 郵送日 3	5月30日(日) しめきり日【2】	6月11日(日) しめきり日【3】	6月25日(日) しめきり日【4】	7月9日(日) しめきり日【5】	
現代の国語	3	①	②	❶	③		❷		❸	
言語文化	3	①	②	❶	③		❷		❸	
現代文Ｂ	6	①②	③④	❶❷	⑤⑥	❸	❹	❺	❻	
古典Ｂ	6	①②	③④	❶❷	⑤⑥	❸	❹	❺	❻	
地理総合	3	①	②	❶	③		❷		❸	
歴史総合	3	①	②	❶	③		❷		❸	
世界史Ｂ	6	①②	③④	❶❷	⑤⑥	❸	❹	❺	❻	
日本史Ｂ	6	①②	③④	❶❷	⑤⑥	❸	❹	❺	❻	
公共（ａ）	3	①	②	❶	③		❷		❸	
公共（ｂ）	3	①	②	❶	③		❷		❸	
政治・経済（ａ）	3	①	②	❶	③		❷		❸	
政治・経済（ｂ）	3	①	②	❶	③		❷		❸	
数学入門（１）	3	①	②	❶	③		❷		❸	
数学入門（２）	3	①	②	❶	③		❷		❸	7月19日（水）前期レポート合格しめきり日
数学入門(1)(2)同時履修	6	(1)①②	(1)③(2)①	(1)❶❷	(2)②③	(1)❸	(2)❶	(2)❷	(2)❸	
数学Ⅰ（１）	3	①	②	❶	③		❷		❸	
数学Ⅰ（２）	6	①②	③④	❶❷	⑤⑥	❸	❹	❺	❻	
数学Ⅰ(1)(2)同時履修	9	(1)①②③	(2)①②③	(1)❶❷	(2)④⑤⑥	(1)❸(2)❶	(2)❷❸	(2)❹❺	(2)❻	
数学Ⅱ	6	①②	③④	❶❷	⑤⑥	❸	❹	❺	❻	
数学Ａ	3	①	②	❶	③		❷		❸	
科学と人間生活	3	①	②	❶	③		❷		❸	
物理基礎	3	①	②	❶	③		❷		❸	
化学基礎	3	①	②	❶	③		❷		❸	
生物基礎	3	①	②	❶	③		❷		❸	
体育１	1	①							❶	
体育２	1	①							❶	
体育３	2	①			②		❶		❷	
体育４	1	①							❶	
体育５	1	①							❶	
保健	3	①	②	❶	③		❷		❸	
美術Ⅰ	3	①②③		❶			❷		❸	
美術Ⅱ	3	①②③		❶			❷		❸	
書道Ⅰ	3	①②③		❶			❷		❸	
書道Ⅱ	3	①②③		❶			❷		❸	
英語入門（１）	3	①	②	❶	③		❷		❸	
英語入門（２）	3	①	②	❶	③		❷		❸	
英語入門(1)(2)同時履修	6	(1)①②	(1)③(2)①	(1)❶❷	(2)②③	(1)❸	(2)❶	(2)❷	(2)❸	
英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠ	3	①	②	❶	③		❷		❸	
英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡ	6	①②	③④	❶❷	⑤⑥	❸	❹	❺	❻	
英語表現Ⅰ	3	①	②	❶	③		❷		❸	
家庭総合	5	①	②③	❶	④⑤	❷	❸	❹	❺	
情報Ⅰ	3	①	②	❶	③		❷		❸	
ビジネス基礎	2	①			②		❶		❷	
簿記	4	①	②	❶	③④	❷		❸	❹	
情報処理	4	①	②	❶	③④	❷		❸	❹	
消費生活	4	①	②	❶	③④	❷		❸	❹	
保育基礎	4	①	②	❶	③④	❷	❸	❹	❺	
服飾手芸	2	①②					❶		❷	
総合的な探究の時間	3	①②③							8/3(木) ❶合格しめきり	

R５後期

【①～⑥、❶～❻はレポートの第1～６回を表しています】

講座名	レポート回数	10月8日（日）配布日 1	10月23日（月）郵送日 2	10月29日（日）しめきり日【1】	11月6日（月）郵送日 3	11月7日（火）しめきり日【2】	11月19日（日）しめきり日【3】	12月3日（日）しめきり日【5】	12月10日（日）しめきり日【6】	
現代の国語	3	①	②	❶	③		❷		❸	12月25日（月）後期レポート合格しめきり日
言語文化	3	①	②	❶	③		❷		❸	
現代文Ｂ	6	①②	③④	❶❷	⑤⑥	❸	❹	❺	❻	
古典Ｂ	6	①②	③④	❶❷	⑤⑥	❸	❹	❺	❻	
地理総合	3	①	②	❶	③		❷		❸	
歴史総合	3	①	②	❶	③		❷		❸	
世界史Ｂ	6	①②	③④	❶❷	⑤⑥	❸	❹	❺	❻	
日本史Ｂ	6	①②	③④	❶❷	⑤⑥	❸	❹	❺	❻	
公共（ａ）	3	①	②	❶	③		❷		❸	
公共（ｂ）	3	①	②	❶	③		❷		❸	
政治・経済（ａ）	3	①	②	❶	③		❷		❸	
政治・経済（ｂ）	3	①	②	❶	③		❷		❸	
数学入門（１）	3	①	②	❶	③		❷		❸	
数学入門（２）	3	①	②	❶	③		❷		❸	
数学入門(1)(2)同時履修	6	(1)①②	(1)③(2)①	(1)❶❷	(2)②③	(1)❸	(2)❶	(2)❷	(2)❸	
数学Ⅰ（１）	3	①	②	❶	③		❷		❸	
数学Ⅰ（２）	6	①②	③④	❶❷	⑤⑥	❸	❹	❺	❻	
数学Ⅰ(1)(2)同時履修	9	(1)①②③	(2)①②③	(1)❶❷	(2)④⑤⑥	(1)❸(2)❶	(2)❷❸	(2)❹❺	(2)❻	
数学Ⅱ	6	①②	③④	❶❷	⑤⑥	❸	❹	❺	❻	
数学Ａ	4	①	②	❶	③④	❷		❸	❹	
科学と人間生活	3	①	②	❶	③		❷		❸	
物理基礎	3	①	②	❶	③		❷		❸	
化学基礎	3	①	②	❶	③		❷		❸	
生物基礎	3	①	②	❶	③		❷		❸	
体育１	1	①							❶	
体育２	1	①							❶	
体育３	1	①							❶	
体育４	1	①							❶	
体育５	1	①							❶	
保健	3	①	②	❶	③		❷		❸	
美術Ⅰ	3	①②③		❶			❷		❸	
美術Ⅱ	3	①②③		❶			❷		❸	
書道Ⅰ	3	①②③		❶			❷		❸	
書道Ⅱ	3	①②③		❶			❷		❸	
英語入門（１）	3	①	②	❶	③		❷		❸	
英語入門（２）	3	①	②	❶	③		❷		❸	
英語入門(1)(2)同時履修	6	(1)①②	(1)③(2)①	(1)❶❷	(2)②③	(1)❸	(2)❶	(2)❷	(2)❸	
英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠ	6	①②	③④	❶❷	⑤⑥	❸	❹	❺	❻	
英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡ	6	①②	③④	❶❷	⑤⑥	❸	❹	❺	❻	
英語表現Ⅰ	3	①	②	❶	③		❷		❸	
家庭総合	5	①	②③	❶	④⑤	❷	❸	❹	❺	
情報Ⅰ	3	①	②	❶	③		❷		❸	
ビジネス基礎	4	①	②③	❶	④	❷		❸	❹	
簿記	4	①	②③	❶	④	❷		❸	❹	
情報処理	5	①	②③	❶	④⑤	❷	❸	❹	❺	
消費生活	2	①			②		❶		❷	
保育基礎	4	①	②③	❶	④	❷		❸	❹	
服飾手芸	2	①②					❶		❷	
総合的な探究の時間	3	A3用紙 2枚(③)		❷ 合格しめきり					1/25(木) ❸合格しめきり	

３２．スクーリング計画表（前期）

時間割を見て計画を立てましょう。5月28日（日）は本校の教員が協力校で授業を行う巡回スクーリングです。

日付	曜日	本校	協力校	1限	2限	3限	4限	5限	6限
5月7日	日	①	益田①						
5月9日	火	❶							
5月14日	日	②	大田①						
5月16日	火	❷							
5月21日	日	③	②						
5月23日	火	❸							
5月28日	日		巡回③						
5月30日	火	❹							
6月4日	日	④	④						
6月6日	火	❺				健康診断（浜田）			
6月11日	日	⑤	⑤						
6月13日	火	❻							
6月18日	日	⑥	⑥						
6月20日	火	❼							
6月25日	日	⑦	⑦						
6月27日	火	❽							
7月2日	日	⑧	⑧						
7月4日	火	❾						校医検診（浜田）	
7月9日	日	⑨	⑨						
7月11日	火	❿							
7月16日	日	⑩	⑩						

スクーリング計画表（後期）

時間割を見て計画を立てましょう。11月5日（日）は本校の教員が協力校で授業を行う巡回スクーリングです。

日付	曜日	本校	協力校	1限	2限	3限	4限	5限	6限
10月15日	日	①	①						
10月17日	火	❶							
10月22日	日	②	②						
10月24日	火	❷							
10月29日	日	③	③						
10月31日	火	❸							
11月5日	日		巡回④						
11月7日	火	❹							
11月12日	日	④	大田⑤						
11月14日	火	❺							
11月19日	日	⑤	大田⑥ 益田⑤						
11月21日	火	❻							
11月26日	日	⑥	大田⑦ 益田⑥						
11月28日	火	❼							
12月3日	日	⑦	大田⑧ 益田⑦						
12月5日	火	❽							
12月10日	日	⑧	大田⑨ 益田⑧						
12月12日	火	❾							
12月17日	日	⑨	大田⑩ 益田⑨						
12月19日	火	❿							
12月24日	日	⑩	益田⑩						

３３．学習進捗状況表

※レポート発送時に送られてきます。自分の学習の状況を把握しましょう。

No.	講座（科目）名	単位数	新・継	必要回数 / 必要時数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	備考
				必要回数	科目ごとに決められているレポート提出の回数																
				必要時数	科目ごとに決められているスクーリング出席回数																
1				6回 / 2回	←科目ごとのレポートの表紙に書いてあります。																
2					●	●	●	▲		←合格すると●、再提出は▲											
					○	○	□	□		←出席すると○、放送視聴は□（2回で○1回分）											
たとえば・・・																					
3	世界史B（前）	2		6回	●	●	●	●	●	●	← レポート完了										
				2回	○	○	← 出席完了														
4	科学と人間生活（前）	1		3回	●	●	▲	← レポート未完了													
				4回	○	○			← 出席未完了												
5																					
6																					
7																					
8																					
合計				特別活動	前校で参加した時間数													時間	今年度の出校日数		日
					昨年度までに参加した時間数													時間			
					今年度参加した時間数													時間			
					合計													時間			

３４．通信制の学習および生活　Ｑ＆Ａ

<スクーリングについて>

Ｑ１、スクーリングはいつありますか？遅刻したら欠席ですか？
Ａ１：日曜日に実施しています。浜田高校は、火曜日にも実施しています。年間行事（Ｐ１・２）で確認しましょう。スクーリングでは、５分以上の遅刻は出席になりません。学校に来た時には、生徒証を掛け、「出校表」に出席する講座名を記入します。時間に余裕をもって登校しましょう。

Ｑ２、スクーリングに持っていくものはなんですか？服装や座席は決まっていますか？
Ａ２：持っていくものは、教科、学習書、レポート、筆記用具、生徒証、生徒用バーコードシールです（詳細はＰ８　参照）。服装は、勉学の場にふさわしい服装であれば自由です。浜田高校定通校舎は、下足のまま入ります。協力校では備えつけのスリッパに履き替えてください。座席は自由です。

Ｑ３、「本Ｓ」「協Ｓ」「火Ｓ」「巡Ｓ」とはなんですか？
Ａ３：「本Ｓ」は本校スクーリング、「協Ｓ」は協力校スクーリング、「火Ｓ」は火曜スクーリング、「巡Ｓ」は巡回スクーリングの略称です（Ｐ８　参照）。

Ｑ４、協力校スクーリングはどこでやっていますか？
Ａ４：令和５年度は、大田は**大田高校**、益田は**益田翔陽高校**で日曜日に実施します。

Ｑ５、時間割はいつごろわかりますか？
Ａ５：４月末の全校集会で配布される亀山通信に前期の時間割が、１０月はじめの全校集会で配布されるものに後期の時間割が掲載されます。プレスクーリングで、担任・副担任と相談しながらスクーリング受講計画を立てる時間を設けています。

Ｑ６、協力校の生徒が、本校（浜田高校）へ行かなければならないことがありますか？
Ａ６：４月の受講手続き、前期全校集会、健康診断、校医検診、１０月の後期全校集会は、本校で行います。また、入学式（通信制新入生のみ）、同窓会入会式（全定通卒業生）、卒業式（全定通合同卒業生・在校生）は本校で行われます。特別活動は、本校で実施されることが多いです（Ｐ１・２、Ｐ３１・３２　参照）。

Ｑ７、特別活動とはなんですか？
Ａ７：ホームルーム活動、生徒会活動、学校行事などの活動のことです。通信制の場合、卒業するまでに３０時間以上の参加が必要です（Ｐ１８、Ｐ３０～３３　参照）。

<レポートについて>

Ｑ８：レポートはいつもらえますか？
Ａ８：第１回または第１回と第２回は全校集会時に渡します。

Ｑ９：レポートの合格点はどのくらいですか？わからないところがあったら、どうしたらいいですか？

Ａ９：レポートは教科書、学習書をよく読み、自学自習をして作成します。８０点以上を目標に取り組みましょう。わからないところは、スクーリング等で教科担当に質問して完成させてから提出しましょう。空欄のまま提出すると、採点されずに返却されます。提出後、間違った箇所は、先生からのヒント等を参考に直しておきましょう（Ｐ１０・１１　参照）。

Ｑ１０： レポートの採点はどのようになりますか？

Ａ１０：Ｐ１０の「レポート採点方法と合格について」を見てください。

Ｑ１１：「提出しめきり日」までにレポートは合格しなければならないのですか？

Ａ１１：いいえ。各回レポートの提出しめきり日を過ぎると減点されます。前期・後期終了時の合格しめきり日までは提出可能です。

Ｑ１２： 提出しめきり日を過ぎてからもレポートは出せますか？

Ａ１２：はい。前期末・後期末の合格しめきり日まで出せます。しかし、１日各講座１回分の合格しか認めていません。提出しめきり日までに出すようにしましょう。

Ｑ１３：レポートを提出中や全て合格した後でも、スクーリングに出席できますか？

Ａ１３：本校スクーリングでは、各回のレポート内容の授業をするために、持参するレポートを指定しています。各回のレポート「郵送日」と「提出しめきり日」を確認して、スクーリング計画をたてましょう。合格したレポートをスクーリングに持参することは可能です。復習として取り組んでください。

Ｑ１４：レポートの解答がわからない場合、解答欄に「わかりません」と書いてもいいですか？

Ａ１４：空欄とみなされます。わからないところは、スクーリング等で質問し、解答を記入しましょう。「わかりません」以外でも、問題文の指示通りにレポートが作成されていない場合は、再提出になります。

Ｑ１５：同じ講座の複数回のレポートを一緒にまとめて出してもいいですか？

Ａ１５：はい、受けつけます。ただし、１日各講座１回分の合格しか認めていません。合格日は別日となります。

Ｑ１６、完成したレポートはどうすればいいですか？

Ａ１６：本校では事務室前の「提出ＢＯＸ」に入れてください。協力校では、浜田高校通信制の先生に渡します。郵送する場合は、「通信教育」用の封筒を使うと安価で送れます。２０２１年１０月以降、土曜日配達の中止や配達日数が今までよりかかるようになりました。提出しめきり日を確認して、計画的に提出していきましょう。

（Ｐ９・１０　参照）

Ｑ１７：再提出になったレポートは、どうしたらいいですか？

Ａ１７：レポートに「再」と書かれて返却されたレポートは、できるだけ早く見直して提出してください。

＜試験について＞

Ｑ１８、試験を受けるには、どうすればいいですか？試験の範囲はいつわかりますか？

Ａ１８：講座ごとに設けられたレポートおよびスクーリングの規定の回数を終えた場合に試験が受けられます。受験資格のある生徒にはレポート合格しめきり日以降に「受験願」が学校から送付されます。受験日を決め、必要事項を記入したものを期限までに提出してください（Ｐ１２　参照）。試験の範囲は前期・後期それぞれ取り組んだレポートです。試験に必要な用具等の注意事項は、７月、12 月の「亀山通信に記載されます。

＜放送視聴学習について＞

Ｑ１９、Ｅテレの番組をみたら、スクーリングを受けたことになるのですか？

Ａ１９：視聴するだけではスクーリングを受けたことにはなりません。ＮＨＫ高校講座を視聴して、「視聴報告書」を提出することでスクーリング時間が一部免除になる講座があります。すべてではないので、注意してください（Ｐ１３～１５　参照）。

＜単位の認定について＞

Ｑ２０、単位が認定される時期はいつですか？

Ａ２０：レポート・スクーリングの規定の回数を満たし、試験を受け、それらの総合評価が十分であると会議で認められた場合、単位は認定されます。前期末、後期末にそれぞれの単位が認定されます（Ｐ１８　参照）。

Ｑ２１、学校で申し込める検定試験がありますか？

Ａ２１：漢字検定や英語検定、家庭科の検定等の案内、申し込みを受け付けています。募集案内は、４月の学校通信「亀山通信」を見てください。上級の合格者は、校内で表彰（「亀山賞」）されます。また、単位として認められるものもあります（Ｐ２１　参照）。

Ｑ２２、受講する講座は、自分で決めることはできますか？前期に決めた講座を後期に変更することは可能ですか？

Ａ２２：受講する講座は進路のことも考えながら、ルーム担任と相談しながら、自分で決めます（Ｐ４参照）。受講登録時には、教科書購入も必要なので年度始めに１年間のものを決め、変更はできません。

Ｑ２３、卒業するにはどうしたらいいですか？

Ａ２３：レポート・スクーリングに取り組み、試験を受け、①在籍年数が３年以上（新入生）、②７４単位以上の修得、③特別活動３０単位時間の出席があり、卒業認定会議で認められると卒業できます（Ｐ５、Ｐ２２　参照）。

Ｑ２４、休学はありますか？

Ａ２４：病気などやむを得ない事情によって、学習活動を休止する場合には、ルーム担任の先生に申し出てください。

＜学校生活について＞

Ｑ２５、学校は、いつあいていますか？
Ａ２５：通信制の教員の勤務は、原則日曜日から木曜日の８：２５～１６：５５です。休日等は、年間行事予定をご覧いただくか（Ｐ１・２　参照)、電話で問い合わせてください。°

Ｑ２６、ルーム活動はありますか？
Ａ２６：浜田の本校はスクーリング日の放課後、大田・益田の協力校はスクーリング日の４限と５限の間にＳＨＲがあります。主に、提出物や今後の予定等を確認します。学校からの連絡は、文書が中心です。分からないことや不安なことは、まずルーム担任の先生に相談しましょう。

Ｑ２７、バイクや自動車で来てもいいですか？アルバイトは学校の許可が必要ですか？
Ａ２７：車両通学を希望する人は申請手続きをして、車両通行証を携行してください。アルバイトに学校の許可は必要ありませんが、仕事を始めた時や職場が変わった時にはルーム担任に連絡をしてください（Ｐ２４　参照)。

Ｑ２８、昼食をとるところはありますか？
Ａ２８：浜田の本校は、生徒会室、１Ｒ教室で食事をすることができます。大田・益田協力校では、生徒控室で食事をすることができます。

Ｑ２９、「亀山賞」ってなんですか？
Ａ２９:検定に合格した生徒や、学業と仕事の両立をさせて１年間がんばった生徒に贈られるものです。年度末の授賞式で贈呈されます。

Ｑ３０、全国レベルの交流などはありますか？
Ａ３０：定時制通信制体育大会や生活体験発表会があります。島根県大会を経て出場となります。詳細は期日が近づいたところで、担当の先生から案内があります。

Ｑ３１、学校からのお知らせは、郵送や電話だけですか？
Ａ３１：学校だより「亀山通信」が年５回発行されます。ホームページもあります。行事や特別活動など学校生活の様子をお知らせします。また、前期・後期のスクーリングの時間割や試験の時間割が掲載されます。各教科の連絡や特別活動の申し込み等は、Google Workspace（グーグル ワークスペース）。Classroom（クラスルーム）も利用しています。台風や大雪時の緊急的な連絡は、携帯メールでお知らせします。

＜費用について＞

Ｑ３２、１年間にどのくらいのお金が必要ですか？
Ａ３２：１単位あたり受講料が３３０円、教科書代（初年度２４単位）が約１６，０００円程度です。その他、学校徴収金（ＰＴＡ等諸会費）が約１８，０００円程度必要です。教科書代は、条件（学業と仕事を両立している等）を満たしていて、申請をすれば教科書・学習書の代金が給与されます。また、ＪＲ等乗車賃学生割引制度、回数券割引等も利用できます（詳細はＰ２４)。

３５．スクーリング時程表

○本校スクーリング（本Ｓ）　※浜田

時　限	時　　間
１ 時 限	８：５０～９：４０
２ 時 限	９：５０～１０：４０
３ 時 限	１０：５０～１１：４０
４ 時 限	１１：５０～１２：４０
昼 休 み	
５ 時 限	１３：１５～１４：０５
６ 時 限	１４：１５～１５：０５
ＳＨＲ	１５：１５～１５：３０

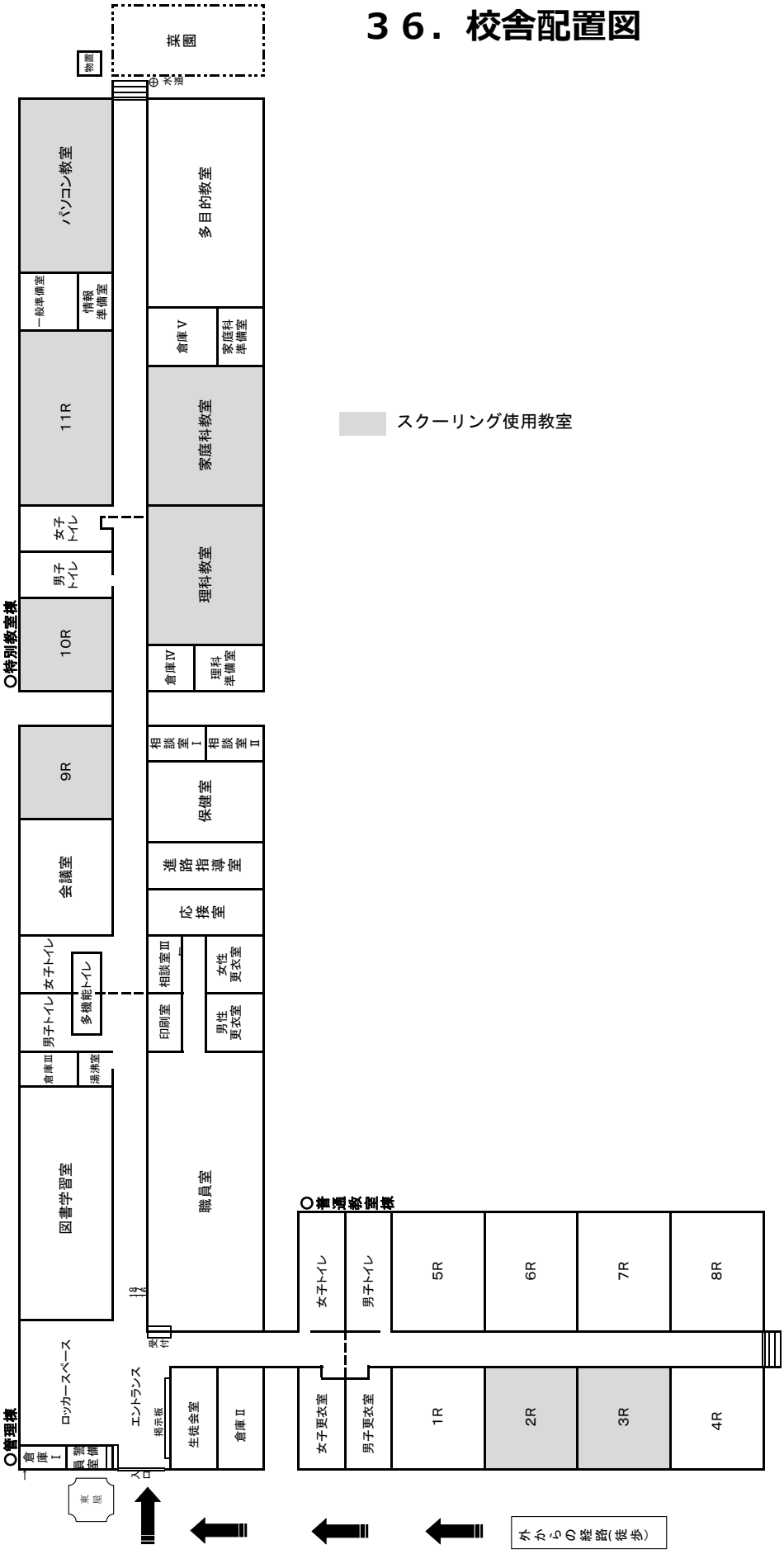
○火曜スクーリング（火Ｓ）　※浜田

時　限	時　　間
１ 時 限	８：５０～９：４０
２ 時 限	９：５０～１０：４０
３ 時 限	１０：５０～１１：４０
４ 時 限	１１：５０～１２：４０
昼 休 み	
５ 時 限	１３：１０～１３：５５ （45分授業）
６ 時 限	１４：００～１４：４５ （45分授業）
ＳＨＲ	１４：５５～１５：１０

○協力校スクーリング（協Ｓ、巡Ｓ）　※大田，益田

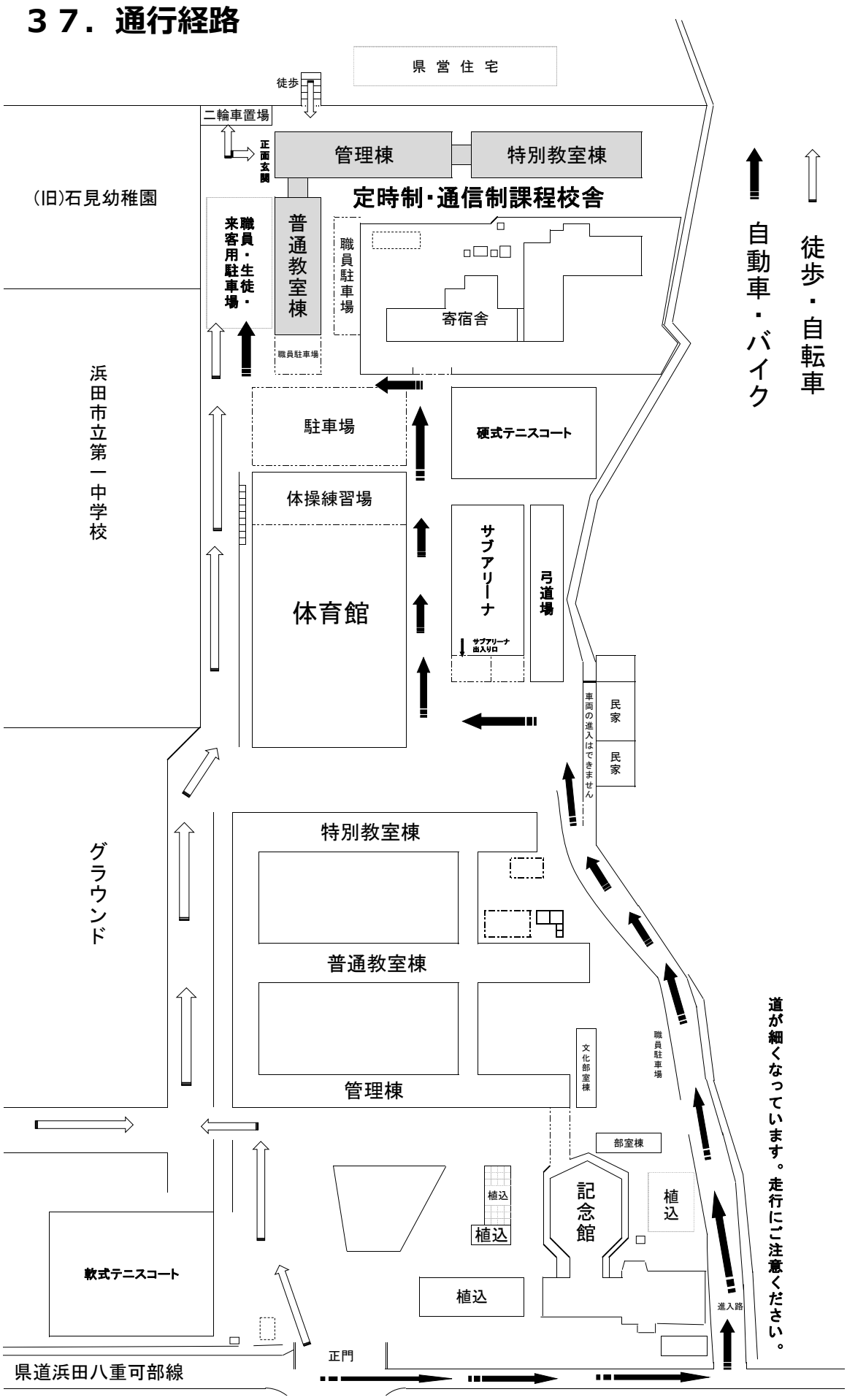
時　限	時　　間
１ 時 限	９：００～９：４５
２ 時 限	９：５５～１０：４０
３ 時 限	１０：５０～１１：３５
４ 時 限	１１：４５～１２：３０
清掃・SHR	
昼 休 み	
５ 時 限	１３：１５～１４：００
６ 時 限	１４：１０～１４：５５

３６．校舎配置図



スクーリング使用教室

３７．通行経路


県営住宅
徒歩
二輪車置場
正面玄関
管理棟
特別教室棟
定時制・通信制課程校舎
(旧)石見幼稚園
職員・生徒・来客用駐車場
普通教室棟
職員駐車場
寄宿舎
職員駐車場
浜田市立第一中学校
駐車場
硬式テニスコート
体操練習場
体育館
サブアリーナ
弓道場
サブアリーナ出入り口
車両の進入はできません
民家
民家
グラウンド
特別教室棟
普通教室棟
管理棟
文化部室棟
職員駐車場
部室棟
植込
植込
記念館
植込
植込
軟式テニスコート
進入路
正門
県道浜田八重可部線
徒歩・自転車
自動車・バイク
道が細くなっています。走行にご注意ください。

通信制の１年　　実施月、内容等は年度によって変わる場合もあります。

学校行事

４月
- 新入生１日入学
- 受講手続き
- 入学式（前期）
- 前期全校集会
- プレスクーリング（浜田、大田、益田）

５月
- 健康診断
- 情報モラル教育
- ＰＴＡ総会
- 生徒総会
- 社会人基礎力講座
- 進学説明会

６月
- 県定通体育大会
- 遠足
- 地域巡検（浜田、大田、益田）
- 保護者会（浜田、大田、益田）
- 企業・学校見学
- 就職説明会　　・避難訓練
- 心と体の健康講座

７月
- 生徒会提案行事
- 社会人基礎力講座

８月

９月
- 着こなし講座
- 前期卒業式
- 新入生１日入学

１０月
- 入学式（後期）
- 後期全校集会
- プレスクーリング（浜田、大田、益田）
- 島根県生活体験発表会（宍道高校）
- 宿泊研修
- 社会人基礎力講座
- 定通合同スポーツ大会

１１月
- 生徒会提案行事
- 企業・学校見学
- 社会人基礎力講座
- 先輩から学ぶ会
- 心と体の健康講座
- 防災学習（浜田、大田、益田）

１２月
- 生徒会提案行事
- 大掃除
- 人権教育講演会
- 心と体の健康講座
- 社会人基礎力講座

２月
- 冬季集団研修
- 授賞式
- マナー講習

３月
- 卒業式
- 同窓会入会式
- 次年度受講指導

スクーリング・試験等

4 Apr　5 May　6 Jun　7 Jul　8 Aug　9 Sep　10 Oct　11 Nov　12 Dec　1 Jan　2 Feb　3 Mar

- 前期スクーリング開始

- 前期試験（８月中旬から）
- 前期レポート合格締切（７月末）
- 後期スクーリング開始
- 後期レポート合格締切（１２月末）
- 後期試験（１月下旬から）

就職・進学試験予定

- 高卒求人票受付開始（１日～）
- 就職試験開始
- 大学・短大推薦入試開始（10 月頃から随時）
- 専門学校入学試験開始（10 月頃から随時）
- 大学・短大一般入試開始（１月頃から随時）
- 大学入学共通テスト